

NORTHERN PIONEER

EK

FACTBOOK

2025

事業別データ集

2025年8月発行

目次

01

“K” LINE at a Glance

- 2 財務ハイライト
- 3 財務データ
- 5 業績
- 6 主要コンテナ船会社
収支実績比較

02

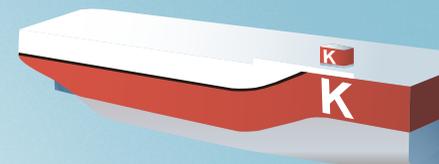
事業別情報

- 7 セグメント概要
- 8 セグメント別情報とグループ運航船舶
- 9 世界海上荷動き・輸送キャパシティデータ
- 10 鉄鋼原料事業／バルクキャリア事業
- 13 LNG船事業、液化ガス事業、電力事業、
エネルギー事業、原油・製品事業
- 17 自動車船事業
- 19 物流事業
- 20 コンテナ船事業

03

会社概要／株式情報

- 24 会社概要／株式情報



01. "K" LINE at a Glance | 財務ハイライト

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
		(百万円)										
業績 (会計年度)	売上高	¥1,352,421	¥1,243,932	¥1,030,191	¥1,162,025	¥836,731	¥735,284	¥625,486	¥756,983	¥942,606	¥957,939	¥1,047,944
	営業利益	47,988	9,427	△46,037	7,219	△24,736	6,840	△21,286	17,663	78,857	84,154	102,855
	経常利益	48,980	3,338	△52,388	1,962	△48,933	7,407	89,498	657,504	690,839	132,728	308,089
	親会社株主に帰属する当期純利益	26,818	△51,499	△139,478	10,384	△111,188	5,269	108,695	642,424	694,904	101,989	305,384
財政状態 (会計年度末)	総資産	1,223,328	1,115,223	1,045,209	1,036,886	951,261	896,081	974,608	1,574,960	2,052,616	2,109,432	2,210,049
	純資産	467,440	379,913	245,482	243,094	181,233	200,234	316,162	984,882	1,546,679	1,624,600	1,677,449
	自己資本	441,531	355,375	219,484	217,010	103,576	101,095	218,193	884,634	1,515,399	1,591,925	1,648,434
	有利子負債	536,846	525,152	550,512	570,584	550,211	543,451	507,005	423,455	351,692	287,782	344,861
	設備投資額	89,501	116,592	68,048	101,105	97,911	81,148	45,332	43,442	71,827	85,398	133,441
	減価償却費	53,526	48,302	47,421	43,410	40,789	44,253	43,869	42,821	42,396	44,550	49,137
	営業活動によるキャッシュ・フロー	101,825	39,635	△43,919	1,167	△6,808	△21,797	33,397	226,460	456,049	202,449	273,173
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,177	△29,569	△24,881	△22,813	△35,493	△20,286	16,987	△5,848	△46,745	△66,332	△126,133
	フリー・キャッシュ・フロー	90,648	10,066	△68,800	△21,646	△42,301	△42,083	50,384	220,612	409,304	136,117	147,040
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△119,253	△14,835	26,436	22,239	19,290	16,731	△34,845	△116,001	△300,790	△223,182	△211,646
1株当たりの 情報	当期純利益(EPS)(円)	32	△61	△165	12	△132	6	129	765	857	141	460
	純資産(BPS)(円)	523	421	260	259	123	120	260	1,054	2,043	2,252	2,610
	配当金(円)	9	6	—	—	—	—	—	67	133	83	100
	配当性向(%)	29.7	—	—	—	—	—	—	8.7	15.6	58.9	21.7
経営指標	売上高経常利益率(%)	3.6	0.3	△5.1	0.2	△5.8	1.0	14.3	86.9	73.3	13.9	29.4
	売上高当期純利益率(%)	2.0	△4.1	△13.5	0.9	△13.3	0.7	17.4	84.9	73.7	10.6	29.1
	自己資本当期純利益率(ROE)(%)	6.5	△12.9	△48.5	4.8	△69.4	5.1	68.1	116.5	57.9	6.6	18.8
	総資産経常利益率(ROA)(%)	4.0	0.3	△4.8	0.2	△4.9	0.8	9.6	51.6	38.1	6.4	14.3
	負債資本比率(DER)(倍)	1.22	1.48	2.51	2.63	5.31	5.38	2.32	0.48	0.23	0.18	0.21
	自己資本比率(%)	36.1	31.9	21.0	20.9	10.9	11.3	22.4	56.2	73.8	75.5	74.6
	総資産回転率(回)	1.11	1.12	0.99	1.12	0.88	0.82	0.64	0.48	0.46	0.45	0.47
	EBITDA	111,977	24,678	△77,180	67,567	△50,293	65,745	167,779	712,219	745,269	185,005	376,449
	EV/EBITDA(倍)	5.63	21.51	△8.70	9.55	△10.40	7.72	3.66	1.30	1.01	7.83	3.78
	株価収益率(PER)(倍)	11.29	—	—	22.44	—	14.37	2.18	1.16	1.18	14.31	4.40
	株価純資産倍率(PBR)(倍)	0.69	0.57	1.26	1.07	1.07	0.75	1.08	0.85	0.49	0.90	0.78
株主総利回り(TSR)(%)	—	—	—	—	—	—	312.20	1,061.60	1,339.32	2,556.34	2,667.74	
比較指標: 配当込みTOPIX(%)	—	—	—	—	—	—	142.13	144.96	153.38	216.79	213.44	
期中平均値	為替(円/US\$)	109	121	109	111	111	109	106	112	135	144	153
	燃料油価格(US\$/トン)	541	295	265	349	450	467	363	551	769	620	610

* 百万円未満を切り捨てています。

* 2017年10月1日付の株式併合(普通株式10株につき1株の割合)と2022年10月1日付及び2024年4月1日付の株式分割(普通株式1株につき3株の割合)を考慮し調整しています。(1円未満四捨五入)

* 『『税効果会計に係る会計基準』の一部改正』(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を2018年度の期首から適用しており、2017年度に係る総資産および総資産経常利益率は当該会計基準等を遡って適用し、算定しています。

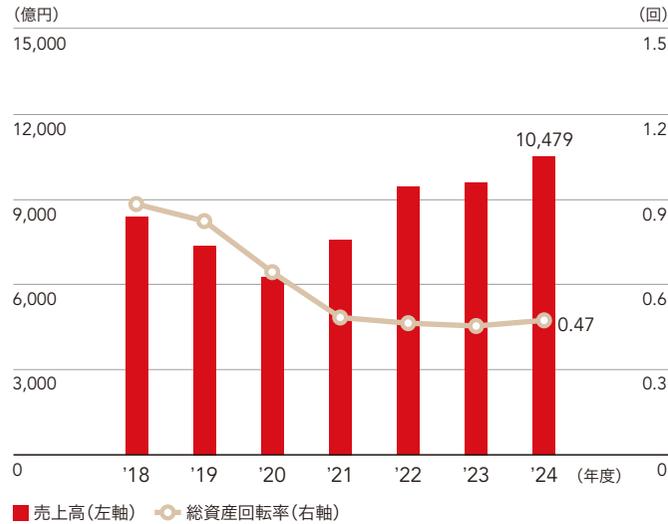
* 『収益認識に関する会計基準』(企業会計基準第29号 令和2年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を2021年度の期首から適用しています。収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取り扱いに従っています。

* 2024年度の期首より、在外子会社等の収益及び費用は、決算日の直物為替相場により円貨に換算する方法から、期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しています。2023年度の関連する主要な経営指標等につきまして、遡及適用後の数値を記載しています。

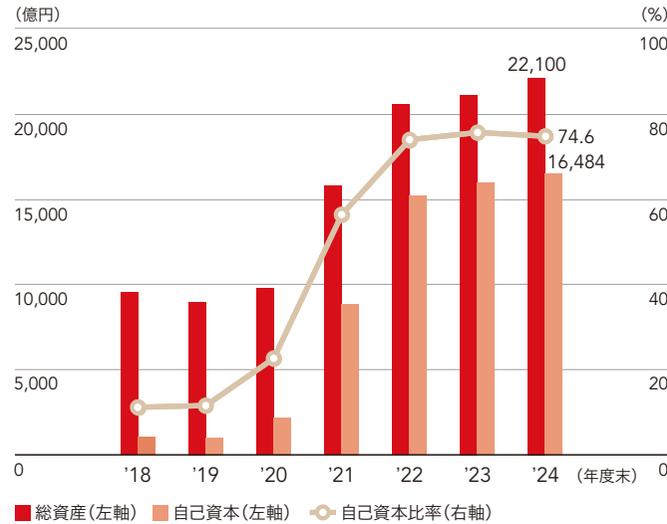
なお、2022年度以前に係る累積的影響額については、2023年度の期首の純資産額に反映させています。

01. "K" LINE at a Glance | 財務データ

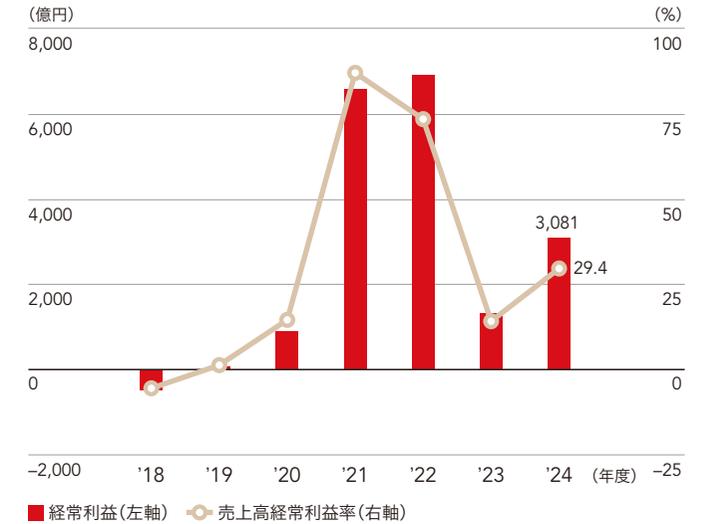
売上高・総資産回転率



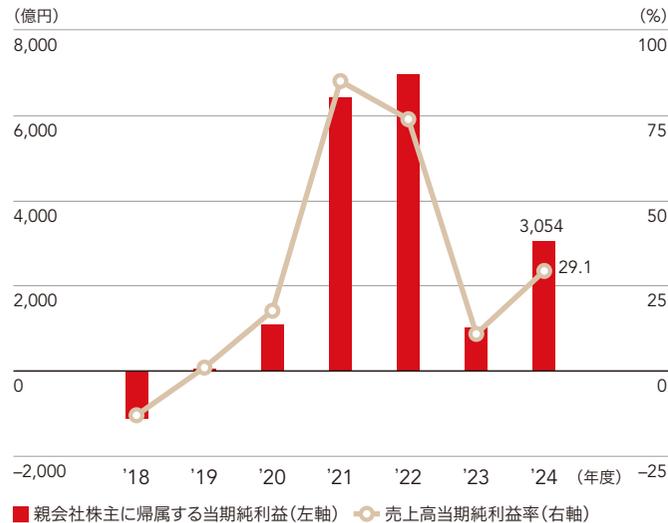
総資産・自己資本・自己資本比率



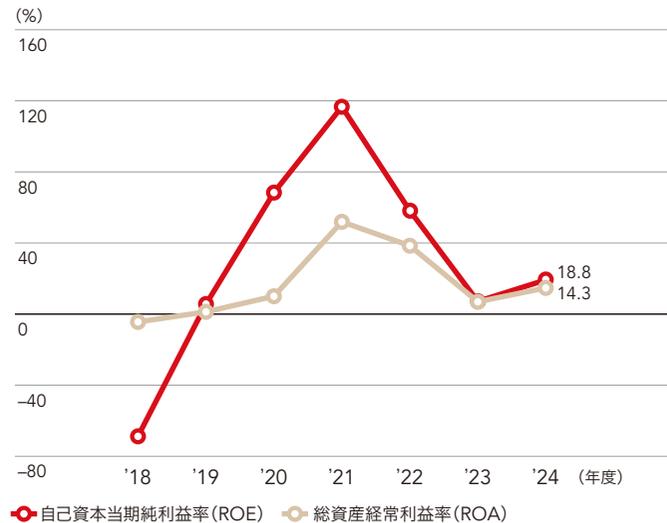
経常利益・売上高経常利益率



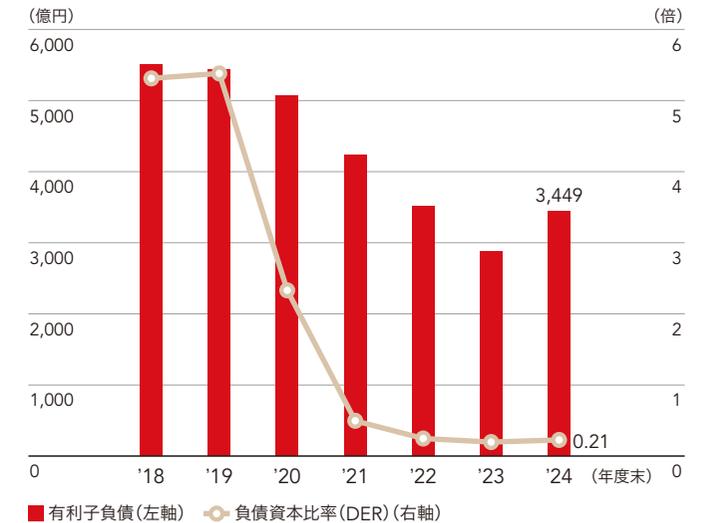
親会社株主に帰属する当期純利益・売上高当期純利益率



自己資本当期純利益率(ROE)・総資産経常利益率(ROA)

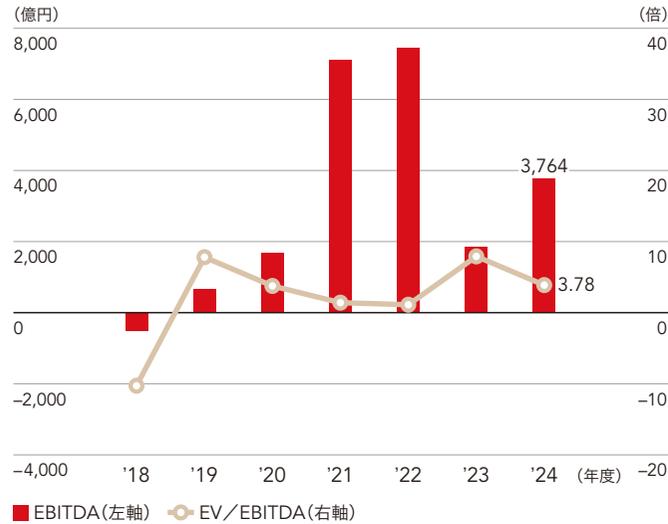


有利子負債・負債資本比率(DER)

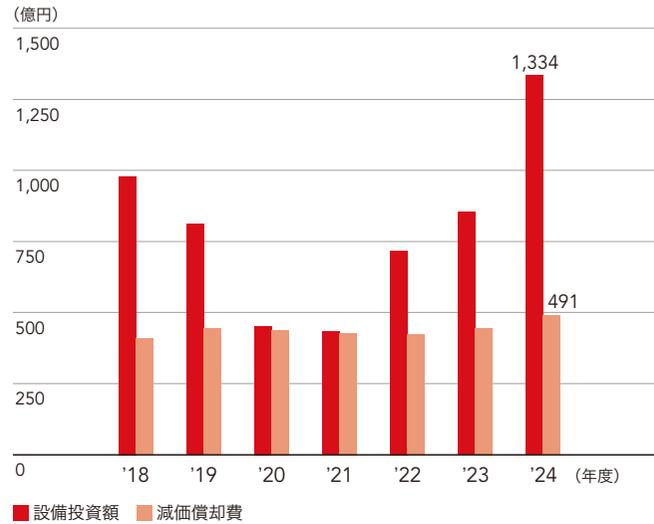


01. "K" LINE at a Glance | 財務データ

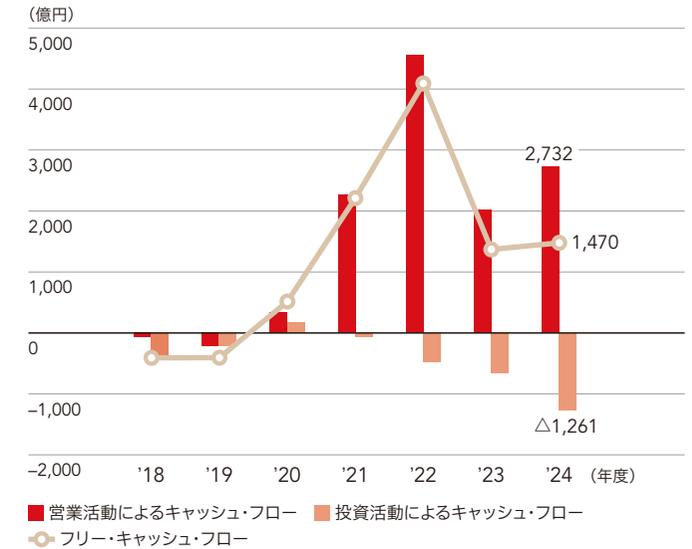
EBITDA・EV/EBITDA



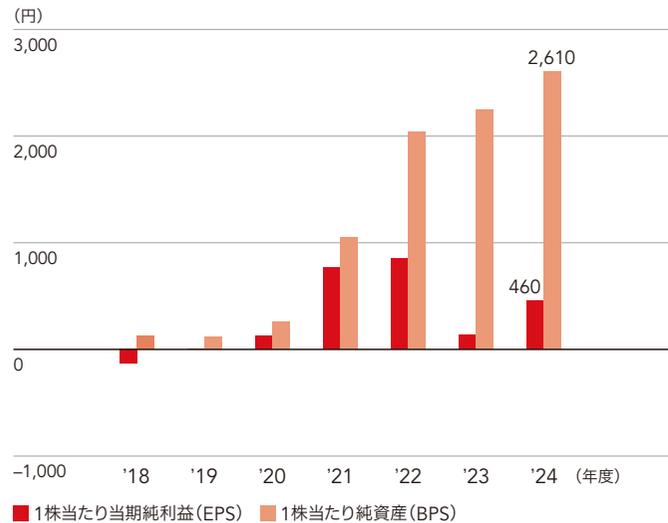
設備投資額・減価償却費



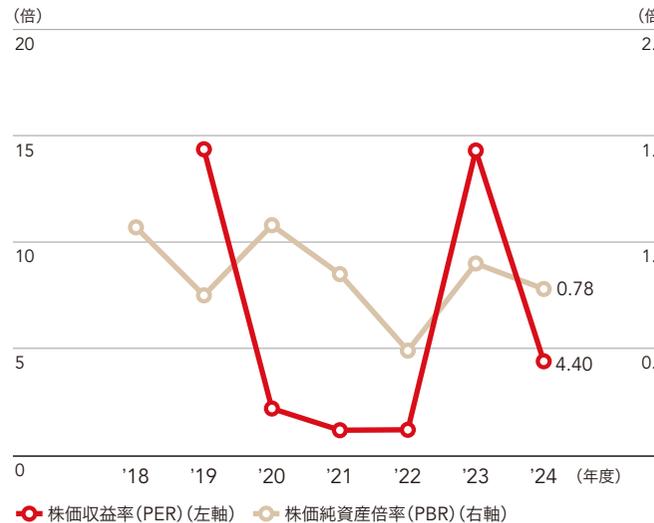
キャッシュ・フロー



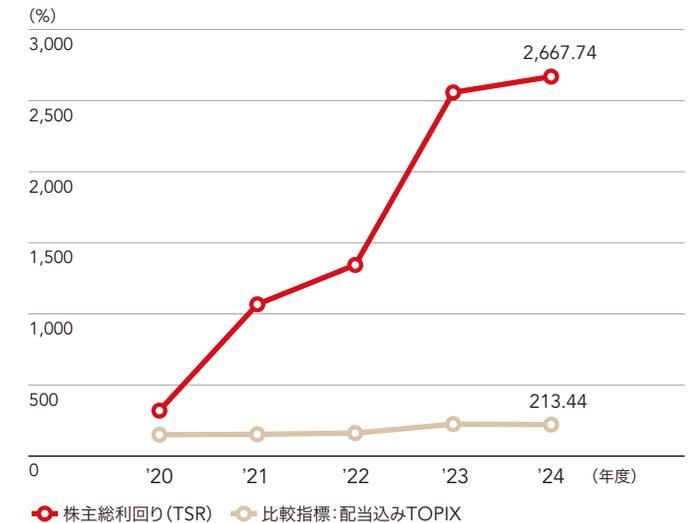
1株当たり当期純利益(EPS)・1株当たり純資産(BPS)



株価収益率(PER)・株価純資産倍率(PBR)



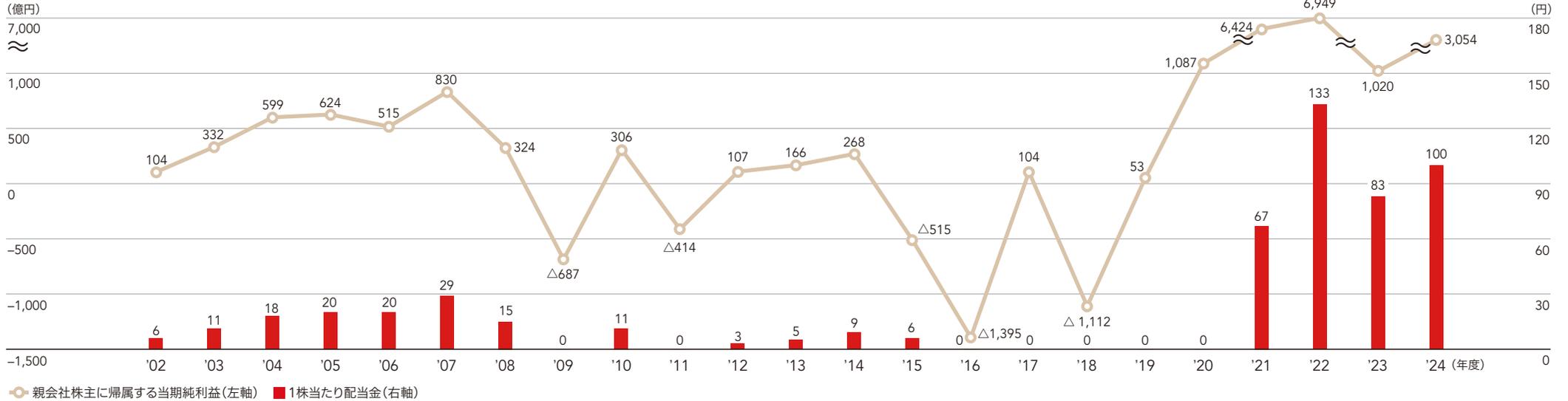
株主総利回り(TSR)



* 2017年10月1日付の株式併合(普通株式10株につき1株の割合)と2022年10月1日付及び2024年4月1日付の株式分割(普通株式1株につき3株の割合)を考慮し調整しています。(1円未満四捨五入)

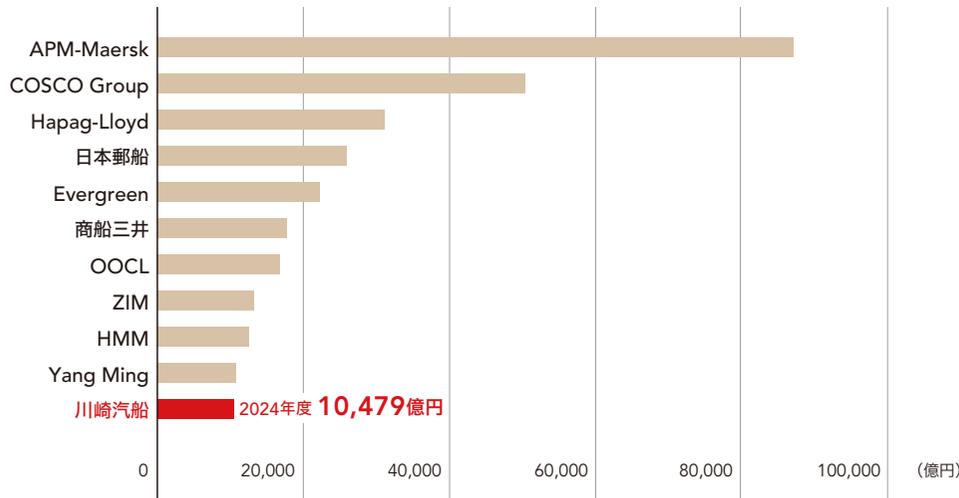
01. "K" LINE at a Glance | 業績

親会社株主に帰属する当期純利益と1株当たり配当金の推移



* 2017年10月1日付の株式併合(普通株式10株につき1株の割合)と2022年10月1日付及び2024年4月1日付の株式分割(普通株式1株につき3株の割合)を考慮し調整しています。(1円未満四捨五入)

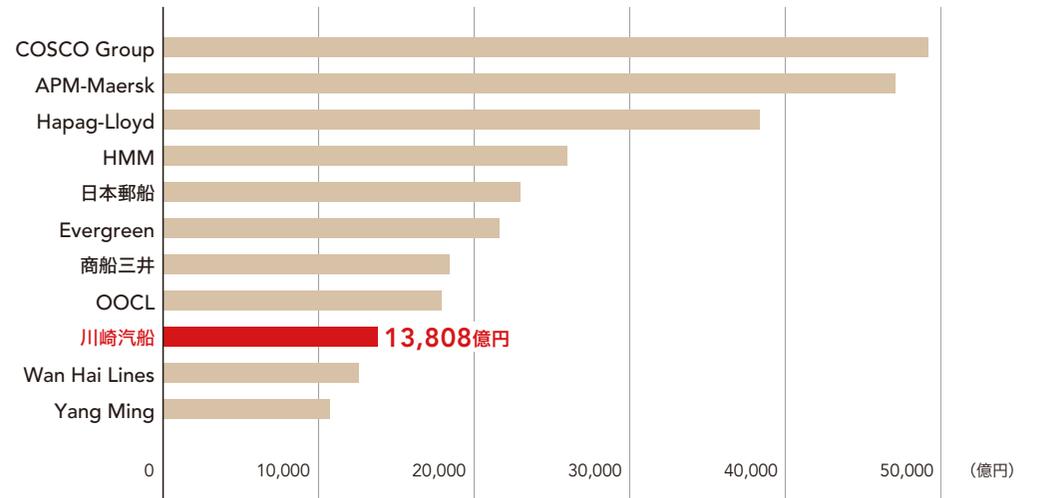
世界の上場海運会社 売上ランキング(2024年度)



出典：LSEG Workspace

世界の上場海運会社 時価総額ランキング

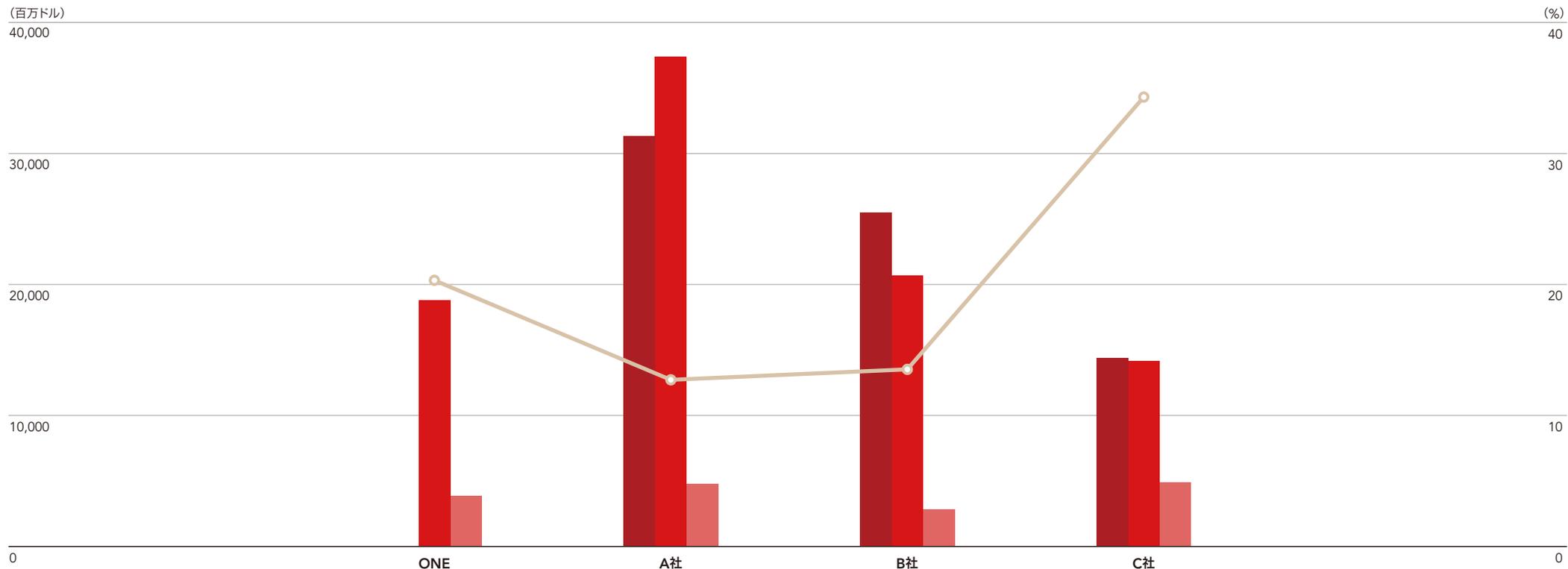
(2025年7月末時点)



出典：LSEG Workspace

01. "K" LINE at a Glance | 主要コンテナ船会社 収支実績比較

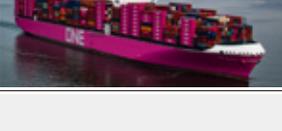
主要コンテナ船会社 収支実績比較



	ONE	A社	B社	C社	
■ 時価総額 (左軸)	N/A	31,286	25,460	14,335	(百万ドル)
■ 総売上高 (左軸)	18,785	37,388	20,673	14,140	(百万ドル)
■ EBIT (左軸)	3,804	4,743	2,788	4,851	(百万ドル)
○ EBITマージン (右軸)	20.3%	12.7%	13.5%	34.3%	
船隊規模	263	707	308	220	(隻)

* 公開情報をもとに当社作成
 * 時価総額：2025年7月末時点
 * 総売上高・EBIT：2024年暦年
 * 船隊規模：2025年3月末時点
 * A社についてはOceanセグメントのみ集計

02. 事業別情報 | セグメント概要

セグメント	事業	事業概要
ドライバルク	鉄鋼原料事業 / バルクキャリア事業	 鉄鋼原料、鉄鋼製品（鋼材）、製紙原料、穀物、石炭などの梱包しない大量の乾貨物をばら積み（バルク）輸送する事業です。日本向けの輸送に加え、韓国、中国、インドや中東のほか、大西太平洋域での三国間輸送も積極的に展開しています。ドライバルク事業ユニットでは風力利用やバイオ・LNG・メタノール・アンモニア燃料など低・脱炭素化に挑戦しています。
エネルギー資源	LNG船事業 / 液化ガス事業	 LNG船事業は世界的に需要が広がるLNGの輸送をグローバルに提供するほか、LNGバリューチェーンにおける顧客ニーズへの対応にも取り組んでいます。液化ガス事業ではネットゼロ現実解の一つとして重要な液化CO ₂ 輸送に加え、市場拡大が見込まれる、かつ、社会の脱炭素化支援に資するLPG、アンモニア等の輸送にも注力しています。
	電力事業	 主に国内電力会社の石炭火力発電所で使用する石炭をオーストラリアやインドネシアから輸送しています。発電用石炭輸送用に当社が独自に開発した幅広ばら積み船は石炭輸送のスタンダード船型となり、当社が有する幅広船隊「コロナシリーズ」により、電力会社の石炭輸送ニーズに安全かつ柔軟に対応するサービスを提供しています。
	原油・製品事業	 原油・製品事業では、原油の海上輸送を行う国内外の備船者向けにグローバルな船主事業を展開しているほか、ドリルシップがブラジル沖でFPSO（浮体式石油・ガス生産貯蔵積出設備）がブラジル沖とガーナ沖で稼働しています。また、全世界に配船される船舶の燃料手配として重油、軽油、LNG、バイオ燃料等の調達を担っています。
	エネルギー事業	 燃料事業においては、LNG・アンモニアなど次世代の船用燃料の供給事業や液化水素運搬船の検討、洋上風力発電支援船事業では、洋上風力発電の建設や維持に不可欠な各種の作業船・輸送船・地質調査船など、将来の環境負荷低減に貢献する事業に取り組んでいます。
製品物流	自動車船事業	 1970年に日本初の自動車専用船を開発・運航開始以来、高品質な輸送サービスをグローバルに展開しています。また、多様化する輸送ニーズに合わせてHigh & Heavy（建設機械、農機、鉄道車両などの背高重量貨物）の輸送強化も図っています。2020年度より投入しているLNG燃料自動車専用船は25年度中に計13隻に拡大し、環境負荷低減の顧客ニーズへの対応を推進しています。
	物流・港湾事業	 "K" LINEグループ各社のノウハウとサービスネットワークを結集し、海上貨物輸送に加え航空貨物輸送、曳船、陸上輸送、倉庫事業、完成車の保管／プロセッシング／輸送サービスを提供する自動車物流等、お客さまのさまざまなニーズに応える総合物流事業を展開しています。また、国内4港（東京、横浜、大阪、神戸）で自動車船ターミナルやコンテナターミナルを運営しています。
	近海・内航事業	 川崎近海汽船株式会社では、バイオマス発電所向け燃料輸送をはじめとするアジア発着の近海船、国内モーダルシフトを推進するRORO船やフェリー、鉄鋼向け石灰石専用船や電力向け石炭専用船などの内航船を運航しています。また、日本近海におけるオフショア支援船事業にも参入し事業の充実を図っています。
	コンテナ船事業	 コンテナ船事業は2018年4月以降、邦船3社で設立したOcean Network Express (ONE)に統合されました。2025年3月末時点で201万TEU・263隻のコンテナ船隊を運航し、世界120ヶ国以上をカバーする充実したサービスネットワークを通じて信頼性が高く迅速な国際輸送サービスを提供しています。
その他		船舶管理業、旅行代理店業、不動産賃貸・管理業などを営んでいます。

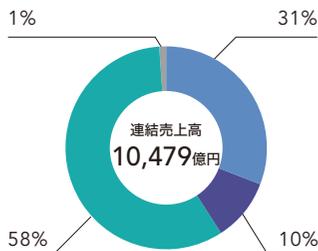
主な船型	主要貨物
ケーブルサイズ	鉄鉱石、原料炭、ボーキサイト
バナマックス	一般炭、鉄鉱石、穀物、塩、ニッケル、鋼材、アルミナなど
ハンディマックス	
スモールハンディ	
チップ	木材チップなど

主な船型	従事する輸送
LNG船	液化天然ガス
LNG燃料供給船	船舶用LNG燃料
液化CO ₂ 船	液化CO ₂
電力炭船	一般炭（発電用石炭）など
原油タンカー / VLCC	原油
原油タンカー / AFRAMAX	
LPG船	液化石油ガス（プロパン・ブタン）
ドリルシップ	浮体式海洋掘削装置
FPSO	浮体式石油・ガス生産貯蔵積出設備
地質調査船	海洋地質調査

主な船型	主要貨物
自動車船	一般車両（乗用車など）、大型車両（バス・トラックなど）、重車両・建設機械・農業機械、非自走貨物など
近海・内航船 RORO船	原料炭、石灰石、鋼材、バイオマス発電燃料、紙製品、業務用食品、建設資材など
コンテナ船	日用品など一般消費財、部品など工業製品、精密機器、加工済み食品、製材済みの木材、原材料素材などドライカーゴ、冷凍食品など

02. 事業別情報 | セグメント別情報とグループ運航船舶

セグメント別 売上高構成比 (2024年度)

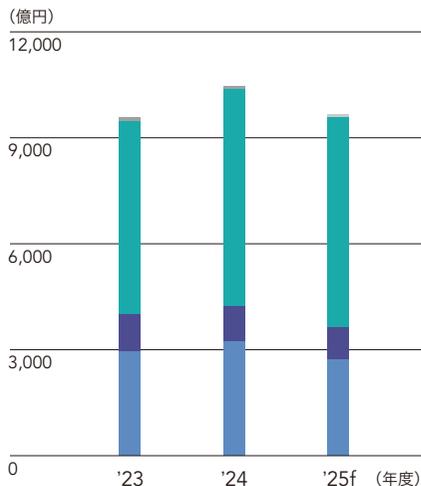


■ ドライバルク ■ エネルギー資源 ■ 製品物流 ■ その他

* エネルギー資源セグメントには、LNG船、液化ガス、電力、原油・製品、エネルギー事業を含む。

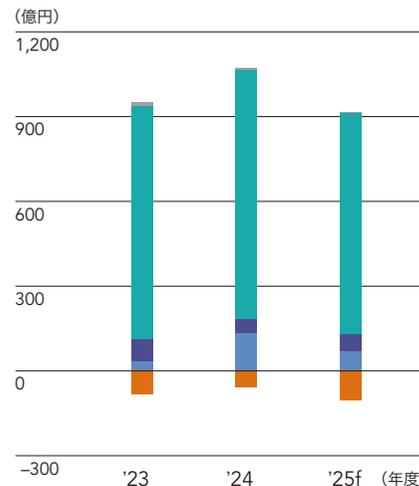
* 製品物流セグメントには、自動車船、物流・港湾、近海・内航、コンテナ船事業を含む。

セグメント別 売上高



■ ドライバルク ■ エネルギー資源 ■ 製品物流 ■ その他

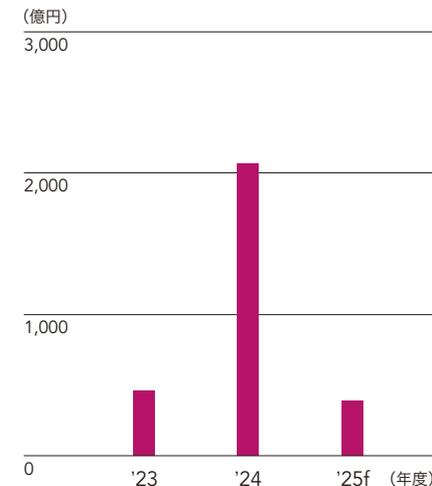
セグメント別 経常損益 (自営事業)



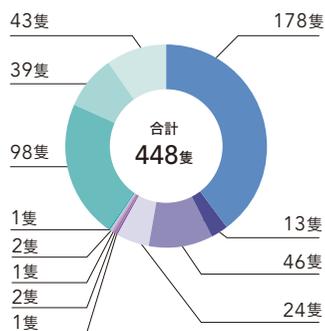
■ ドライバルク ■ エネルギー資源 ■ 製品物流 (コンテナ船事業を除く) ■ その他 ■ 本部・調整

* セグメント別売上高、セグメント別経常損益 (自営事業)、コンテナ船事業経常損益の各2025年度予想は2025年8月時点。

コンテナ船事業 経常損益



グループ運航船舶隻数 (2025年3月末)



■ ドライバルク ■ 油槽船 ■ LNG船 ■ 電力炭船 ■ 海洋掘削船 ■ FPSO ■ 地質調査船 ■ 液化CO₂船 ■ LNG燃料供給船 ■ 自動車船 ■ コンテナ船 ■ 近海・内航船

グループ運航船舶推移

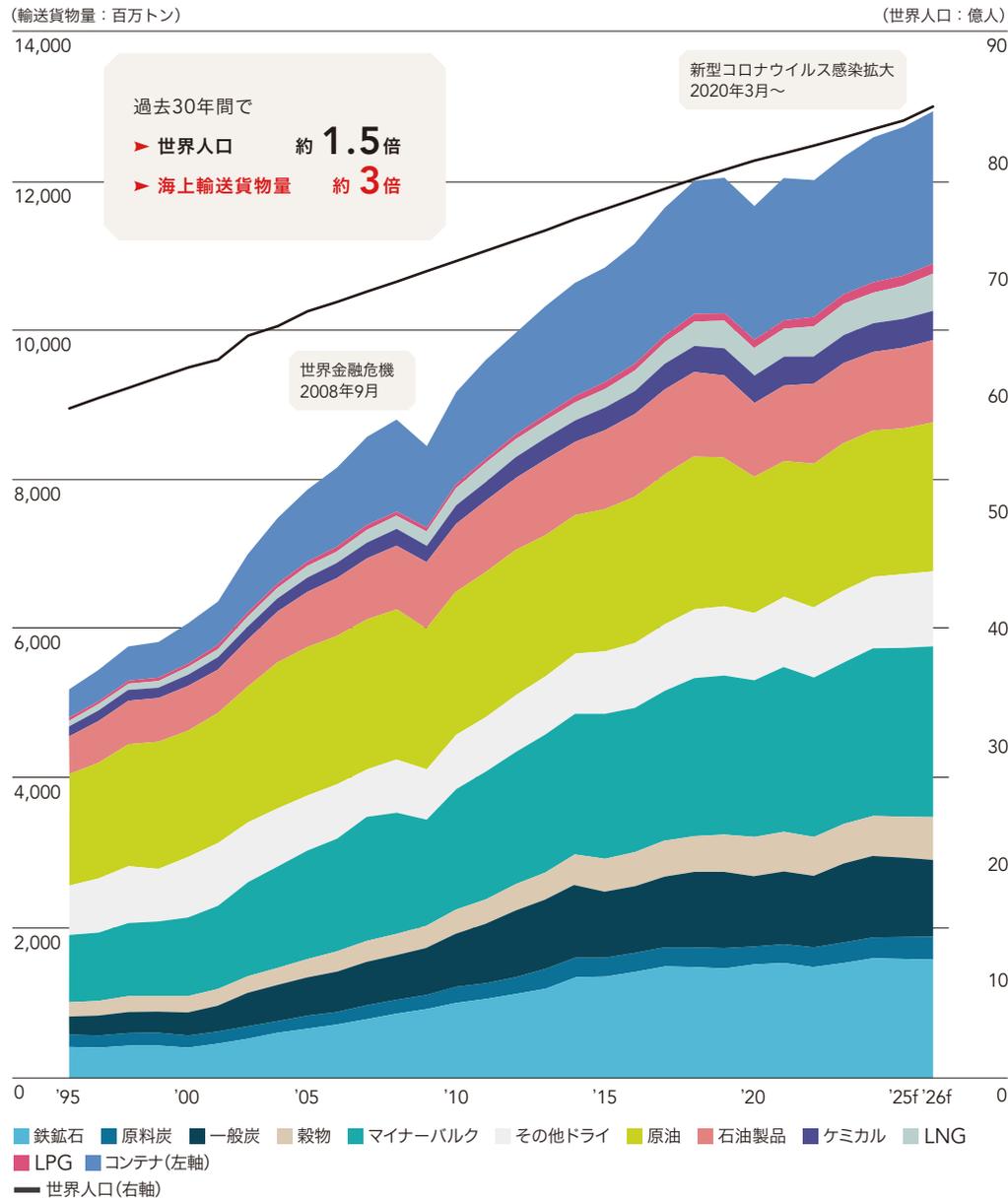
船種	2023年3月末時点			2024年3月末時点			2025年3月末時点		
	所有船	備船	合計	所有船	備船	合計	所有船	備船	合計
ドライバルク	50	129	179	52	140	192	53	125	178
油槽船	9	3	12	11	2	13	11	2	13
LNG船	43	1	44	44	2	46	44	2	46
電力炭船	8	20	28	9	16	25	9	15	24
海洋掘削船	1	0	1	1	0	1	1	0	1
FPSO	1	0	1	1	0	1	2	0	2
地質調査船	0	0	0	0	0	0	1	0	1
液化CO ₂ 船	0	0	0	0	0	0	2	0	2
LNG燃料供給船	1	0	1	1	0	1	1	0	1
自動車船	31	54	85	32	59	91	42	56	98
コンテナ船	11	30	41	11	30	41	13	26	39
近海・内航船	24	18	42	23	19	42	28	15	43
合計	179	255	434	185	268	453	207	241	448

* 所有船の隻数は共有船を含み、重量トン数は共有船の当該船舶における他社持分を含む。

* 基幹船隊に加え、期末時点の短期・スポット備船を含んだ隻数。

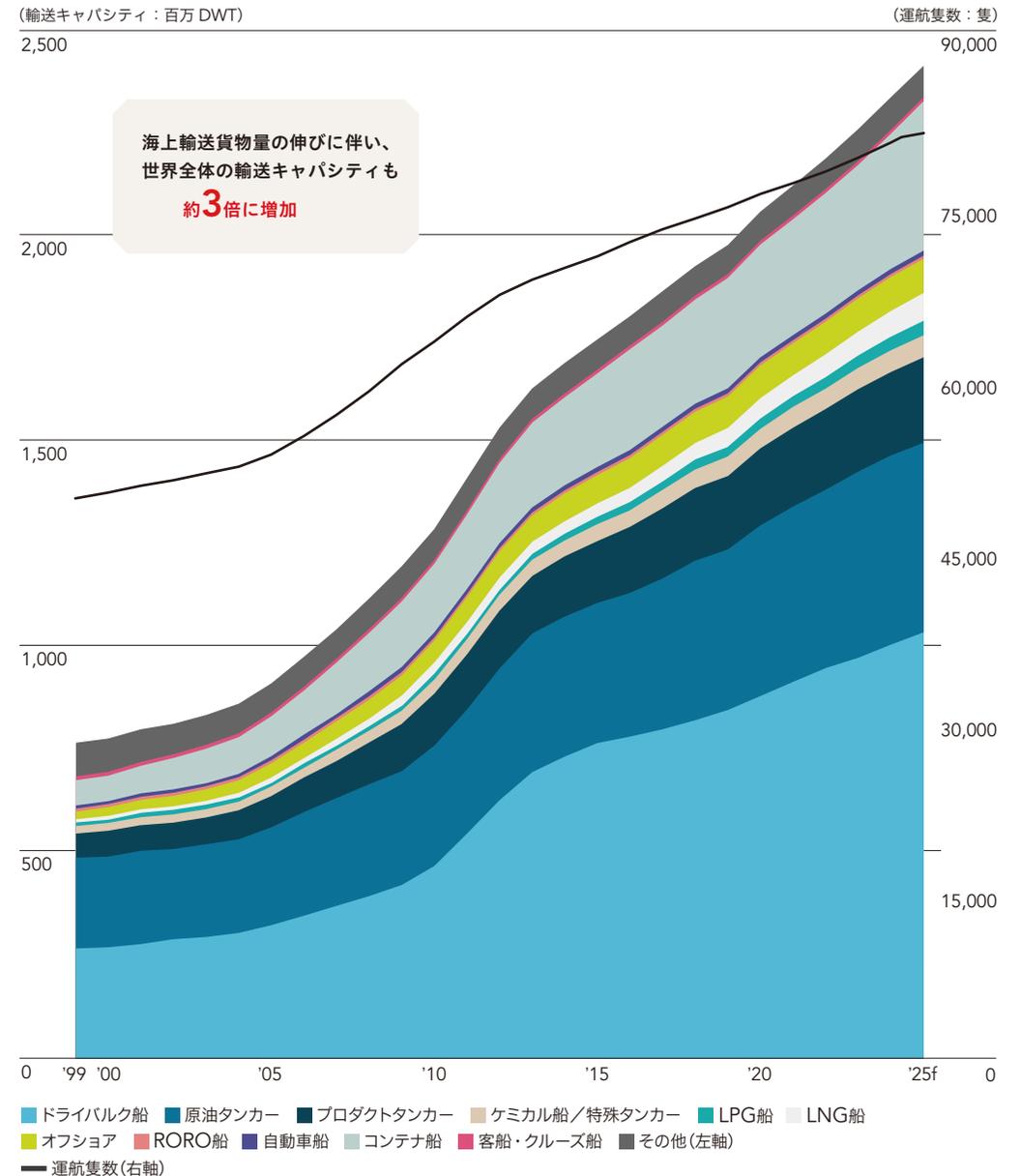
02. 事業別情報 | 世界海上荷動き・輸送キャパシティデータ

世界の主要海上輸送貨物量と世界人口



Clarksonsおよび総務省データベース他より当社作成

世界全体の輸送キャパシティと運航隻数



Clarksons より当社作成

02. 事業別情報 | 鉄鋼原料事業 / バルクキャリア事業

ドライバルク(全船型) 船社ランキング

(2025年6月時点)

ランキング	会社名	重量 (10万トン)	隻数
1	China COSCO Shipping	356.0	314
2	CMB	176.1	111
3	Star Bulk Carriers	143.3	146
4	Berge Bulk	139.5	74
5	日本郵船	136.6	147
6	商船三井	126.5	127
7	China Merchants	120.5	101
8	Pan Ocean	117.5	76
9	China Dev Bank (CDB)	114.3	131
10	川崎汽船	112.6	93

* 保有船および一部備船を含む。

出典：Clarksons

ケープサイズ 船社ランキング

(2025年6月時点)

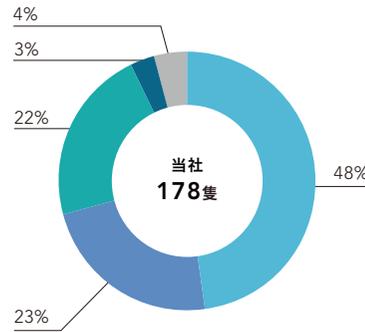
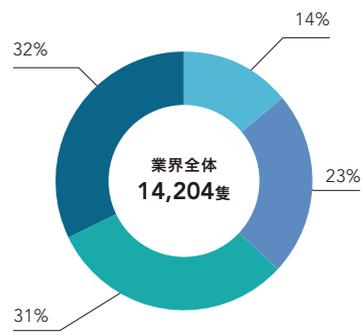
ランキング	会社名	重量 (10万トン)	隻数
1	China COSCO Shipping	227.8	91
2	CMB	149.0	77
3	Berge Bulk	134.2	61
4	ICBC	104.3	31
5	Winning Intl	101.9	53
6	Pan Ocean	92.4	36
7	China Merchants	82.8	29
8	Angelicooussis Group	82.1	44
9	H-Line Shipping	75.0	36
10	川崎汽船	71.5	36

* 保有船および一部備船を含む。

出典：Clarksons

ドライバルク 船隊構成

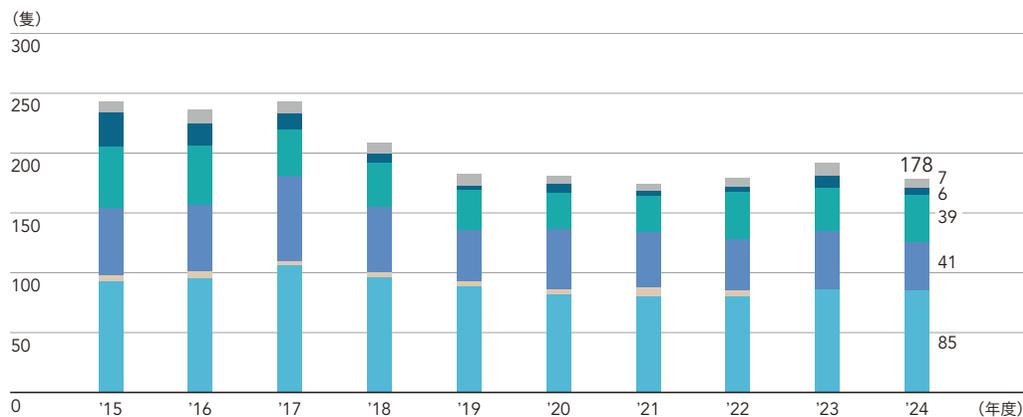
(2025年3月時点)



出典：Clarksons

■ ケープサイズ ■ パナマックス ■ ハンディマックス ■ スモールハンディ ■ チップ

当社ドライバルク サイズ別船隊推移



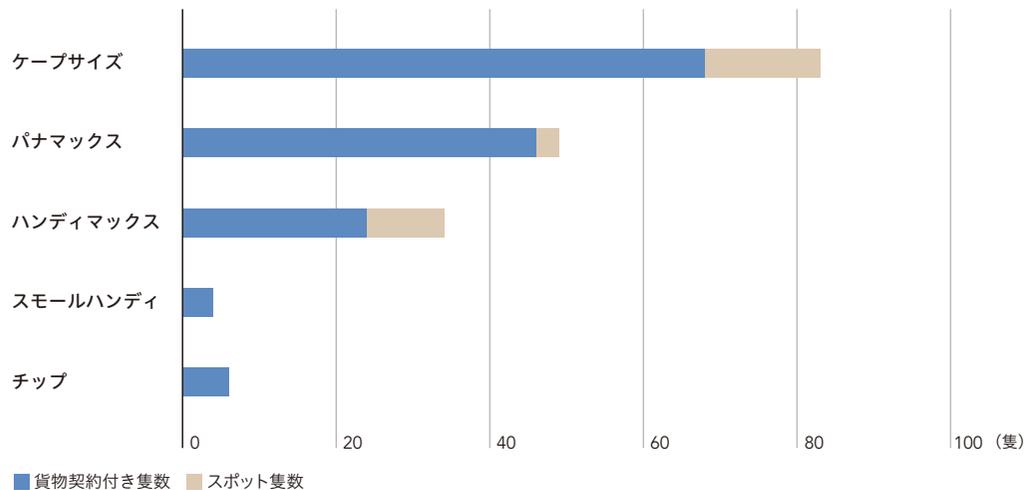
■ ケープサイズ ■ オーバーパナマックス ■ パナマックス ■ ハンディマックス ■ スモールハンディ ■ チップ

* 2023、2024年度のオーバーパナマックスの隻数については、ケープサイズに含む。

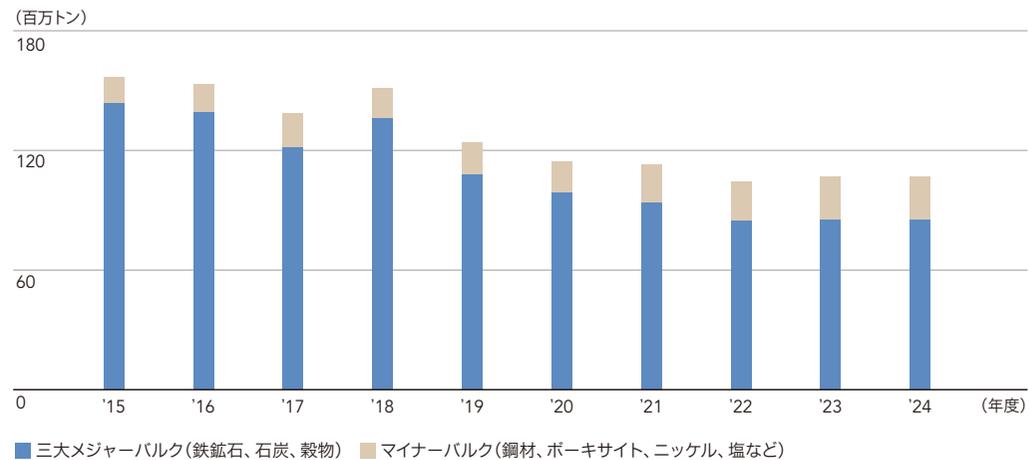
02. 事業別情報 | 鉄鋼原料事業 / バルクキャリア事業

当社ドライバルク 船型別 貨物契約カバー割合(2025年度)

(2025年8月時点)

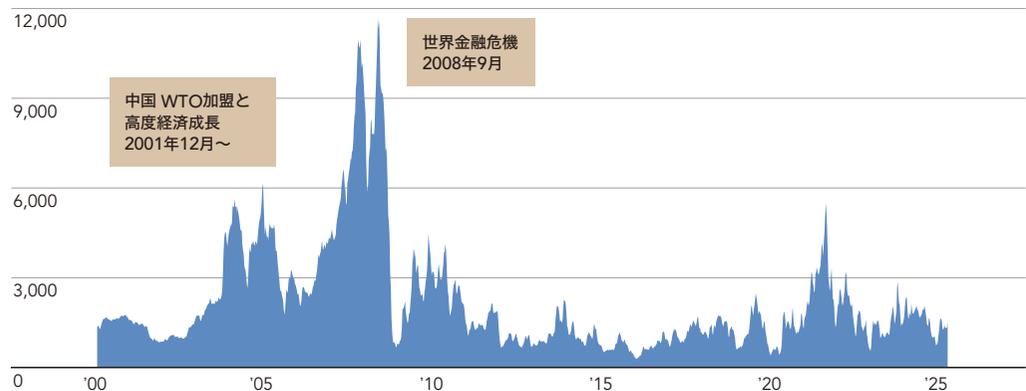


当社のドライバルク輸送量推移



* 2017年度以降、電力事業による輸送量は集計対象外

ドライバルク 運賃指数 (BDI: Baltic Dry Index)

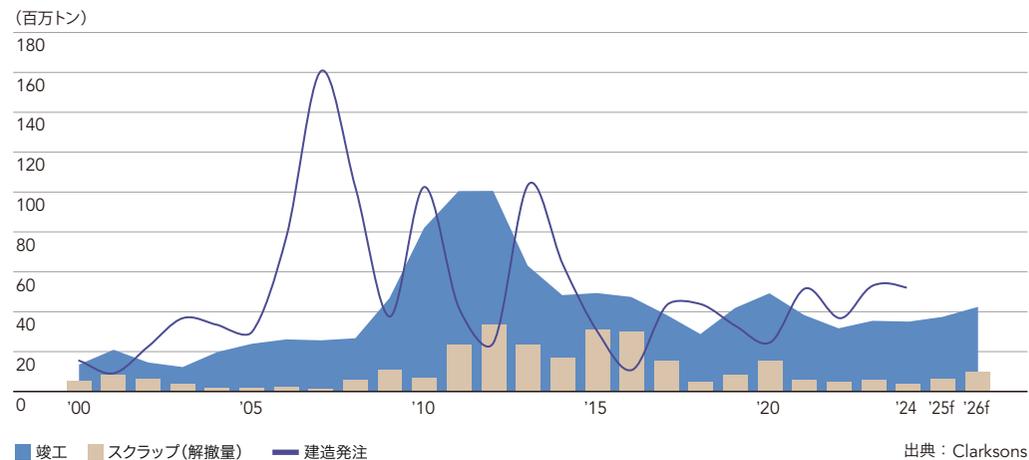


* BDI: 1985年1月4日を基準 (1,000) とした値

出典: Clarksons

ドライバルク 船腹供給量推移

(2025年6月時点)

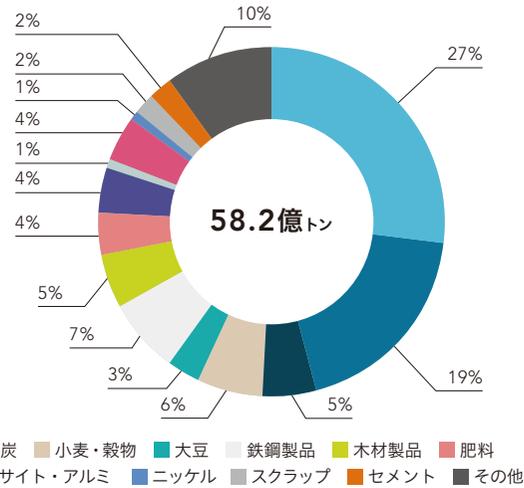


■ 竣工 ■ スクラップ(解撤量) — 建造発注

出典: Clarksons

02. 事業別情報 | 鉄鋼原料事業 / バルクキャリア事業

世界ドライバルク 海上輸送品目別内訳(重量ベース、2024年)

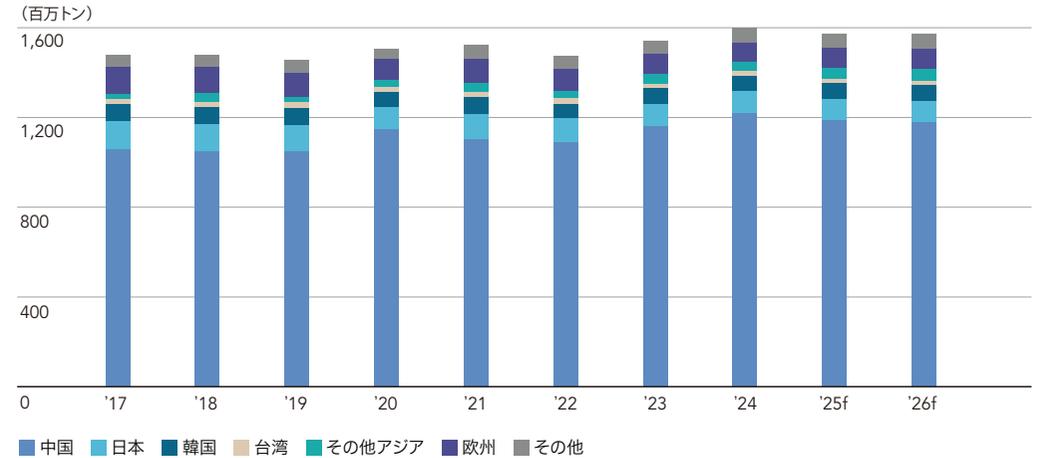


鉄鉱石 一般炭 原料炭 小麦・穀物 大豆 鉄鋼製品 木材製品 肥料
農産物 砂糖 ボーキサイト・アルミ ニッケル スクラップ セメント その他

出典：Clarksons

世界主要国 鉄鉱石輸入量推移

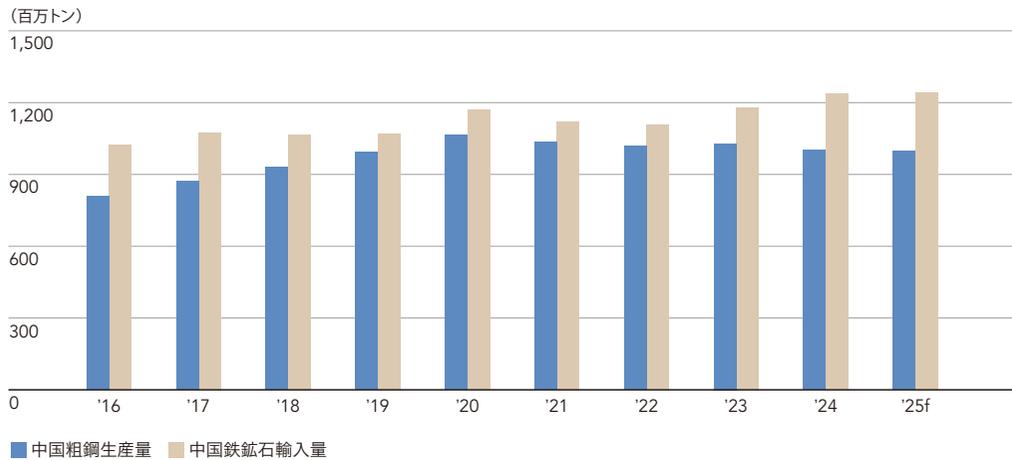
(2025年5月時点)



出典：Clarksons

中国 粗鋼生産量・鉄鉱石輸入量推移

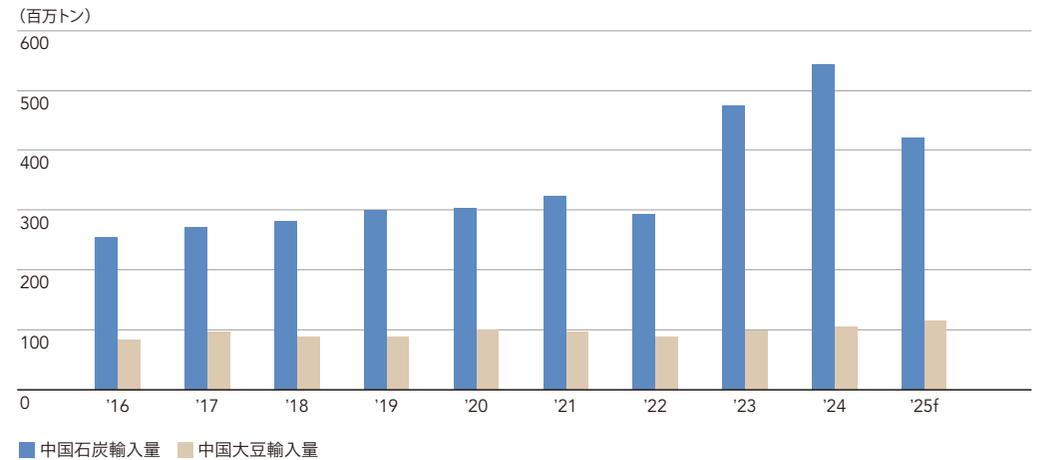
(2025年5月時点)



中国国家统计局、中華人民共和国海関総署およびClarksonsより当社作成

中国 石炭・大豆輸入量推移

(2025年5月時点)



中華人民共和国海関総署およびClarksonsより当社作成

02. 事業別情報 | LNG船事業、液化ガス事業、電力事業、エネルギー事業、原油・製品事業

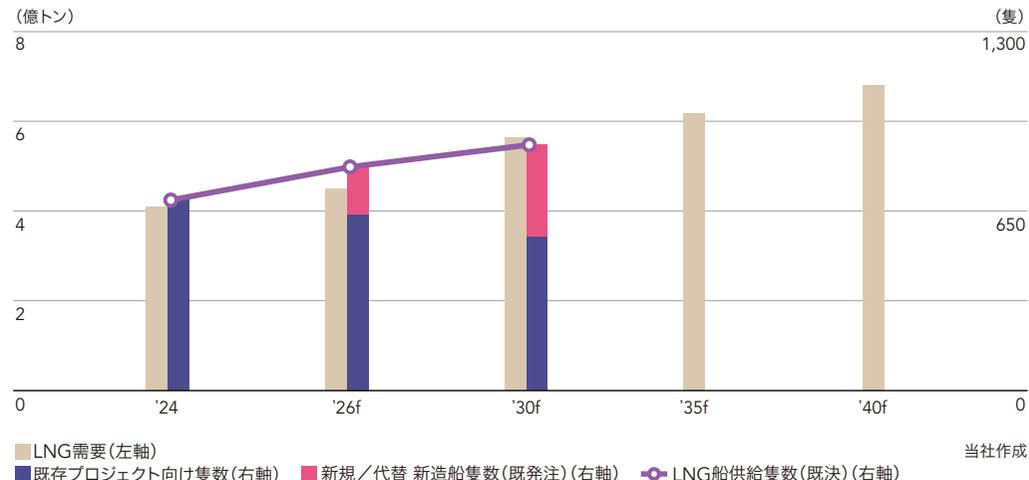
LNG船社ランキング

(2025年3月時点)

ランキング	会社名	隻数
1	商船三井	107
2	日本郵船	89
3	Nakilat	69
4	Sea Peak	50
5	Maran Gas	49
6	川崎汽船	46
7	Bergesen Worldwide	29
8	Knutsen	28
9	MISC	25
9	飯野海運	25

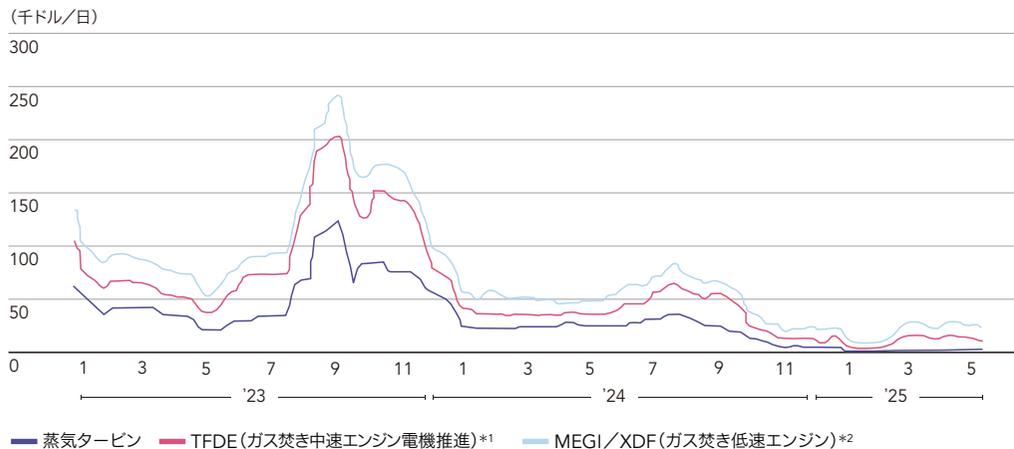
当社作成

LNG需要と船腹供給推移



当社作成

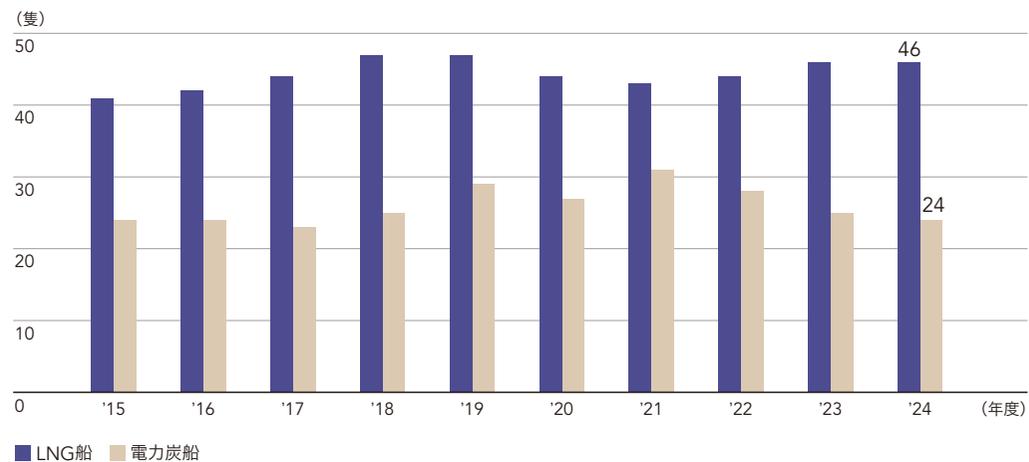
LNG船 備船料推移



*1 ガス、軽油、重油の3種を燃料とする中速4ストロークエンジンにより発電した電気を用いて、モーターにより推進力を得る推進プラント。
*2 ガス、軽油、重油を燃料とする低速2ストロークエンジンから推進力を得る推進プラント。

出典：SSY

当社LNG船・電力炭船隻数推移 (共有船含む)



02. 事業別情報 | LNG船事業、液化ガス事業、電力事業、エネルギー事業、原油・製品事業

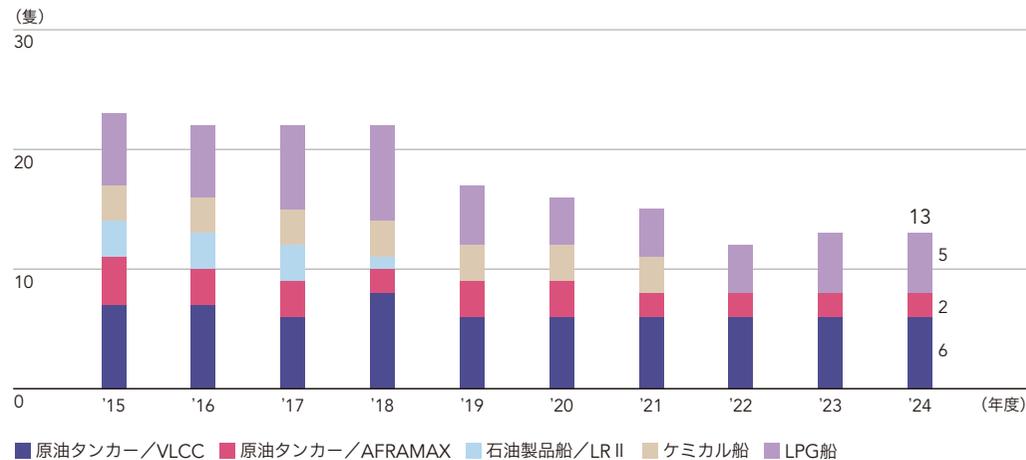
VLCC 船社ランキング

(2025年6月時点)

ランキング	会社名	重量 (10万トン)	隻数
1	China Merchants	161.0	52
2	Bahri	149.2	48
3	China COSCO Shipping	135.1	44
4	Fredriksen Group	123.2	41
5	Angelicoussis Group	117.7	37
6	Nat Iranian Tanker	117.6	38
7	Sinokor Merchant	85.5	28
8	商船三井	70.8	23
9	DHT Holdings	68.4	22
10	Hahn & Company	56.3	18
29	川崎汽船	18.4	6

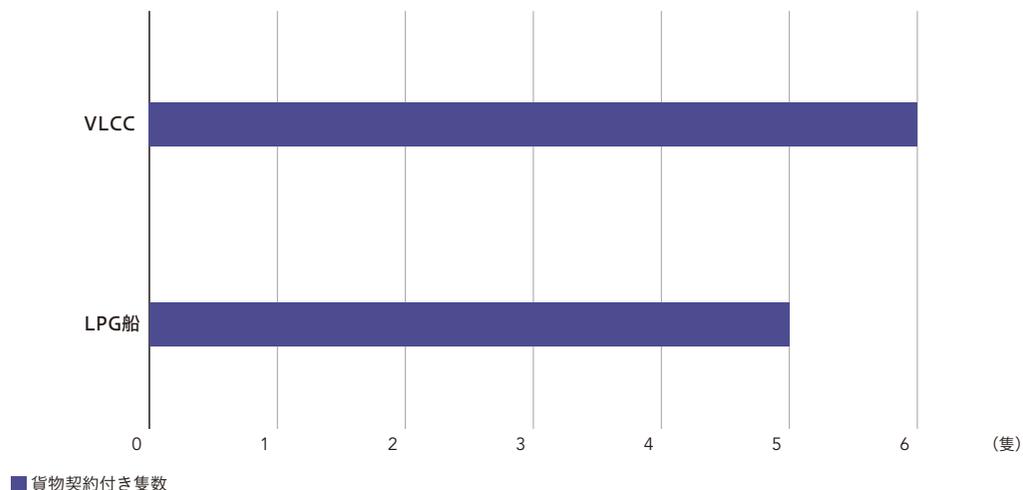
出典：Clarksons

当社油槽船(タンカー) 船種別船隊推移



当社油槽船 船型別 貨物契約カバー割合(2025年度)

(2025年7月時点)



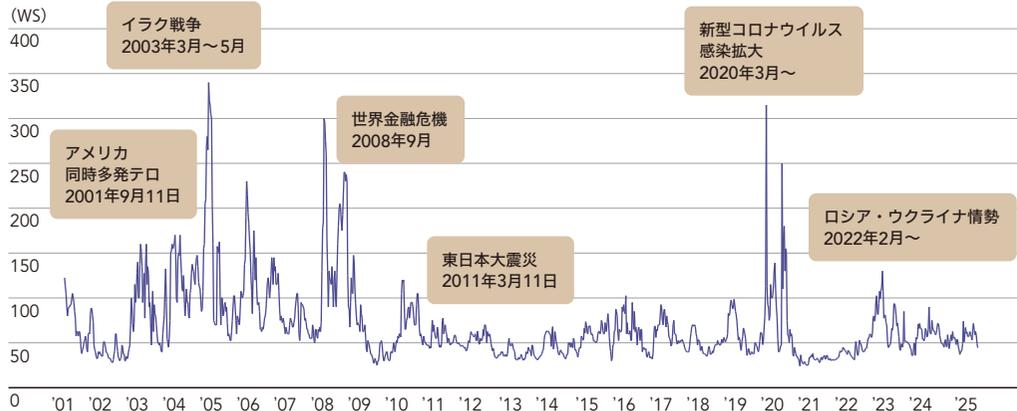
原油・燃料油価格推移



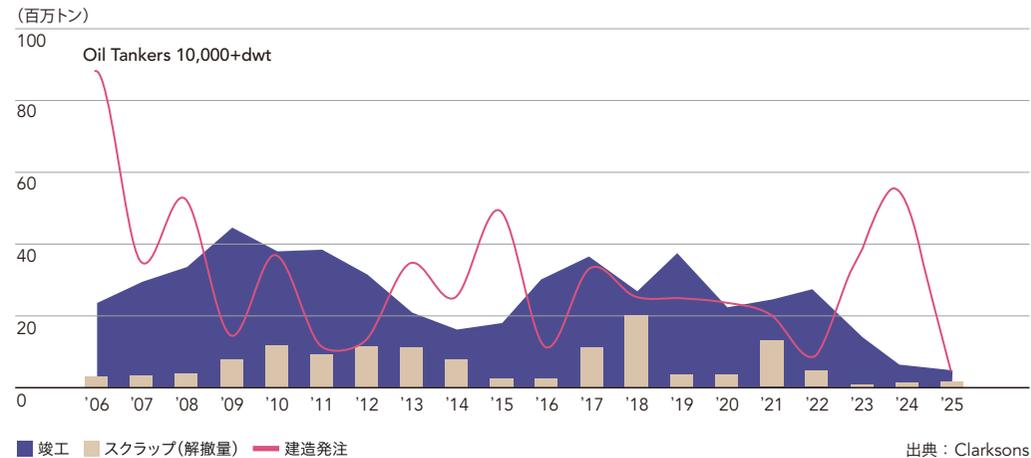
ClarksonsおよびLSEG Workspaceより当社作成

02. 事業別情報 | LNG船事業、液化ガス事業、電力事業、エネルギー事業、原油・製品事業

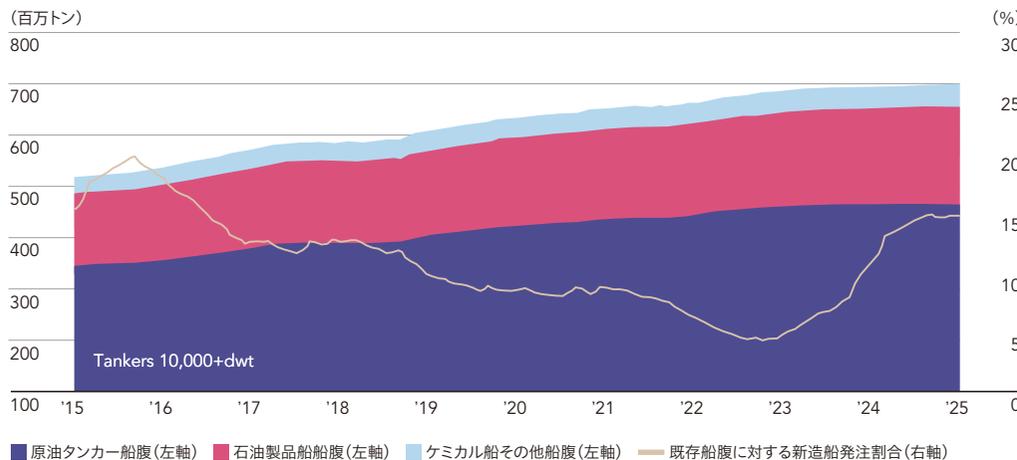
タンカー 運賃指数 (WS:ワールドスケール) 推移



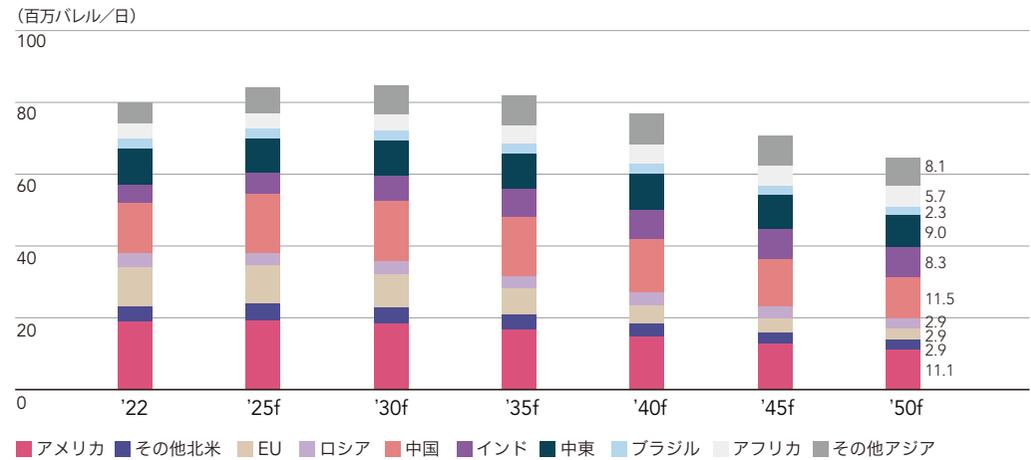
タンカー船腹供給量推移



タンカー船腹量および新造船発注割合推移



国別石油需要予測



出典：Clarksons

出典：World Energy Outlook 2024

02. 事業別情報 | LNG船事業、液化ガス事業、電力事業、エネルギー事業、原油・製品事業

LNG船事業

LNG輸送船周辺事業

FSUとFSRUを中心として、重要顧客とのパートナーシップに基づき、LNG船隊の活用も視野に、当社LNG輸送船事業への貢献・シナジーを追求します。



FSRU係留のイメージ図

エネルギー事業

洋上風力発電支援船事業

川崎汽船と川崎近海汽船の合併会社であるケイライン・ウインド・サービスと、EGS Survey Pte Ltdは海洋地質調査事業を対象としたEK Geotechnical Survey 合同会社を設立しました。同社は、洋上風力の発展に伴い需要の拡大が期待される洋上地盤の調査需要に対応すべく、洋上ボーリングを始めとして、様々な海洋調査サービスを提供しています。2024年9月には、地質調査船「EK HAYATE」が洋上ボーリングのサービス提供が可能な日本籍船として就航し、現在は洋上風力向け調査に従事しています。

当社グループは、社会のカーボンニュートラル化に向けた洋上風力発電産業の発展に貢献していきます。



地質調査船「EK HAYATE」

次世代燃料供給事業

2020年10月に、当社、株式会社JERA、豊田通商株式会社、日本郵船株式会社と共同で出資する合併会社を通じて、中部地区における船舶向けのLNG燃料供給事業を開始しました。2021年2月にFuelLNG Pte Ltd*が保有するシンガポール初となるLNG燃料供給船「FUELLNG BELLINA」の船舶管理を開始しました。

また、2024年11月「かぐや」がShip to Ship方式によるLNG燃料供給100回目を達成しました。

* Keppel Offshore & Marine Ltd (Keppel O&M) および Shell Eastern Petroleum (Pte) Ltd が共同で設立した LNG 燃料供給事業会社



LNG燃料供給船「かぐや」とLNG燃料焚き自動車船「CENTURY HIGHWAY GREEN」(提供：セントラルLNGマリンフューエル社)

水素事業

2023年9月、将来、液化水素運搬船（右イメージ図参照）を保有することが想定される、日本水素エネルギー株式会社の子会社JSE Ocean株式会社へ第三者割当増資にて資本参加し、協業することに合意しました。JSE Oceanを通じて商用規模の国際水素サプライチェーンにおける液化水素の海上輸送事業スキームの検討を共同で実施していきます。



液化水素運搬船イメージ図
(提供：川崎重工業株式会社)

液化ガス事業

LPG・アンモニア輸送

LPGの海上輸送を行う国内外の備船者向けに グローバルな船主事業を展開するとともに、アンモニアなどの新しいエネルギーの輸送需要獲得に向けて取り組んでいます。



二元燃料LPG/アンモニア運搬船「AXIS RIVER」

液化CO₂輸送事業

ノルウェーのNorthern Lights社と7,500m³の液化CO₂船3隻の裸備船契約及び定期備船契約を締結しました。2024年にはこのうち2隻が竣工し、世界初の本格的なCO₂回収貯留 (Carbon dioxide Capture and Storage : CCS) プロジェクトに従事しています。

ロンドンを拠点とする子会社「K」LINE ENERGY SHIPPING (UK) LIMITEDが、本船の船舶 管理を行い、Heidelberg MaterialsやHafslund Oslo Celsioなど、複数のCO₂回収施設からノルウェー ØygardenにあるNorthern Lights社のCO₂受入基地まで液化 CO₂を輸送します。当社は、世界初のNorthern Lightsプロジェクトでの実績とノウハウを礎に、業界のトップランナーを目指します。



Northern Lightsプロジェクトに従事する液化CO₂船「NORTHERN PIONEER」
(提供：Northern Lights JV DA)

原油・製品事業

ドリルシップ事業 (Mobile Offshore Drilling Unit)

2009年、「エテスコプロジェクト」に参画し、水深3,000m、海底下9,000mまでの掘削能力を保持する最先端のドリルシップを共同保有。

2012年よりベトロプラス社に備船を開始し、リオデジャネイロ沖200kmのプレソルト層鉱区で掘削作業を実施しています。



ドリルシップ「ETESCO TAKATSUGU J」

FPSO事業 (Floating Production Storage and Offloading System)

2018年にガーナ沖Offshore Cape Three Point (OCTP) 鉱区向け、2024年にブラジル沖Marlim鉱区向けのFPSO保有・備船事業に参画、洋上で原油、天然ガスを生産しています。

ガーナはEni Ghana Exploration and Production社、ブラジルはベトロプラス社に長期備船中となっています。



ガーナ沖で操業中のFPSO「John Agyekum Kufuor」(提供：インソン社)

02. 事業別情報 | 自動車船事業

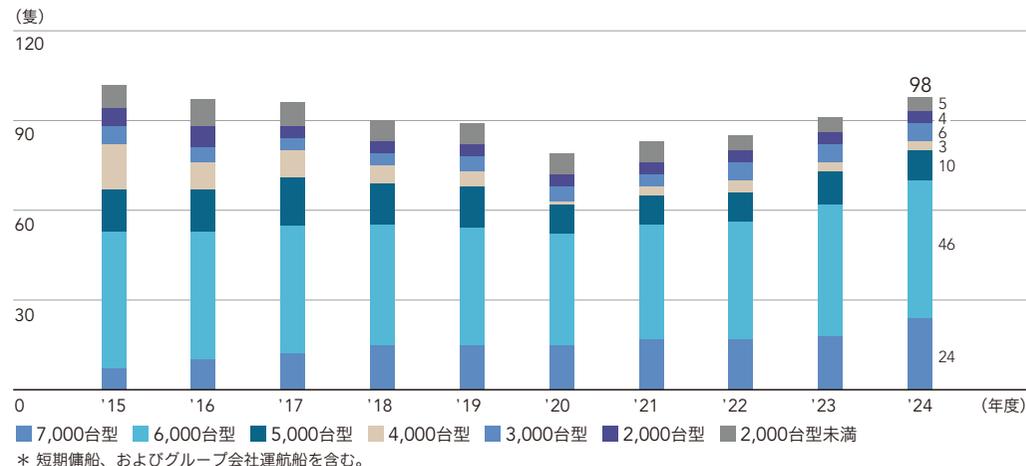
自動車船 船社ランキング

(2025年5月時点)

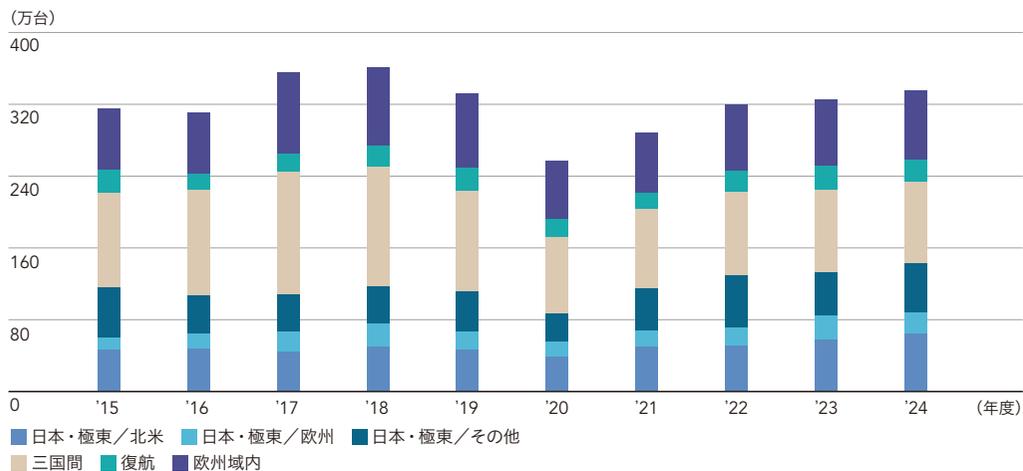
ランキング	会社名	隻数	隻数シェア	キャパシティ	キャパシティシェア
1	WWO AS	114	15.0%	779,912	16.9%
2	日本郵船	113	14.9%	701,006	15.2%
3	商船三井	94	12.4%	570,959	12.4%
4	川崎汽船	87	11.4%	535,175	11.6%
5	GLOVIS	78	10.3%	516,240	11.2%
6	GRIMALDI	58	7.6%	284,668	6.2%
7	HOEGH	41	5.4%	292,615	6.3%
8	COSCO	19	2.5%	125,180	2.7%
9	ZIM	16	2.1%	81,340	1.8%
10	トヨタ海運	14	1.8%	62,860	1.4%
	その他	126	16.6%	665,023	14.4%
	合計	760	100%	4,614,978	100%

Hesnes Shipping "AS Year Report"をベースに当社作成

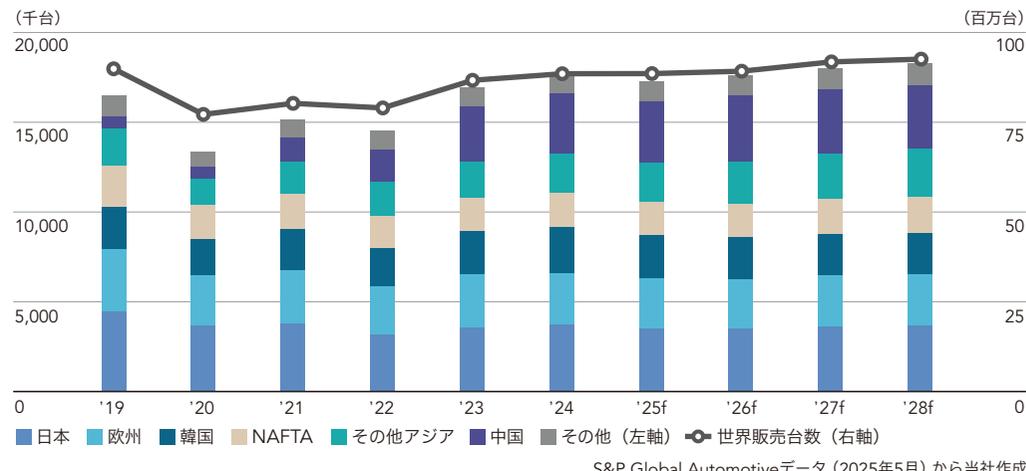
当社自動車船 サイズ別船隊推移



当社自動車輸送台数推移

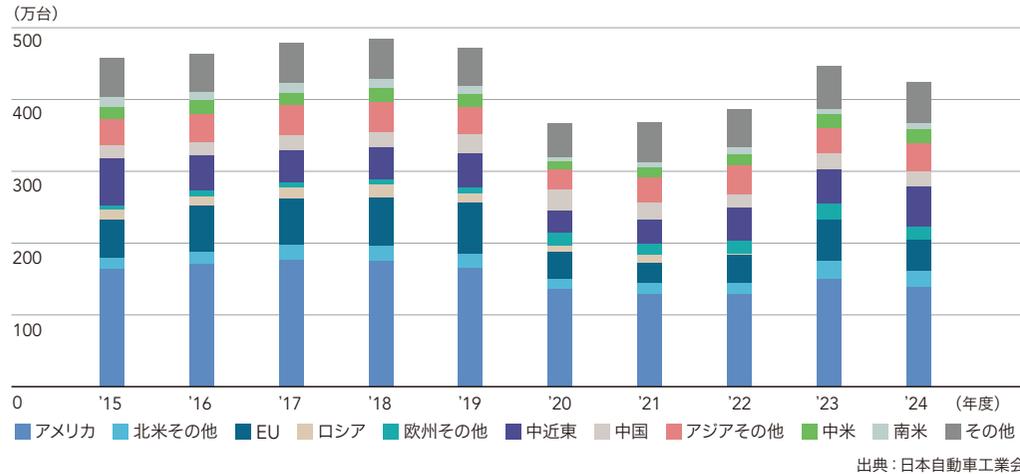


自動車世界海上荷動き推移 (業界全体仕出し地別)

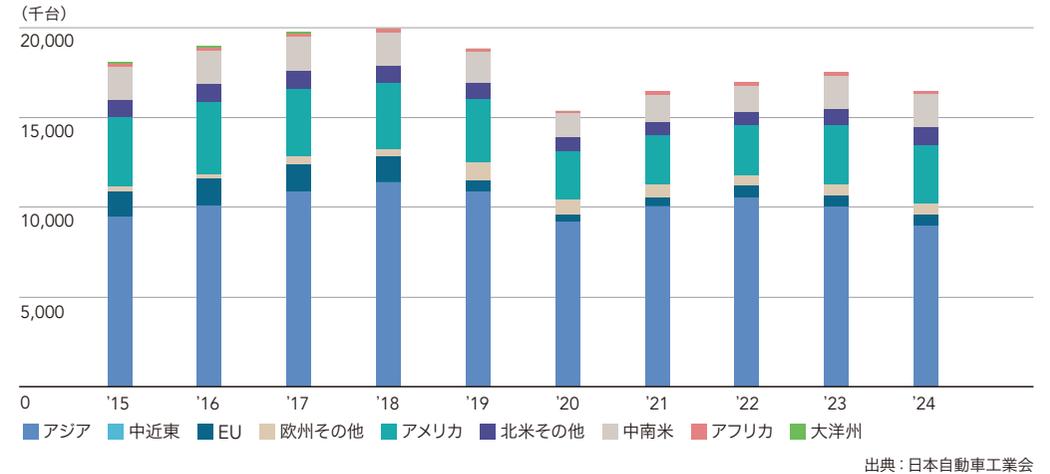


02. 事業別情報 | 自動車船事業

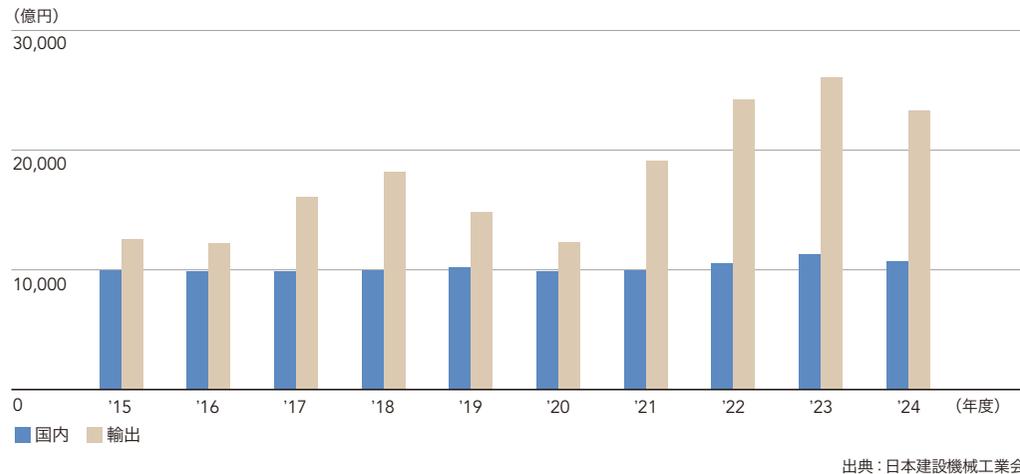
日本積み輸出台数推移(業界全体仕向け地別)



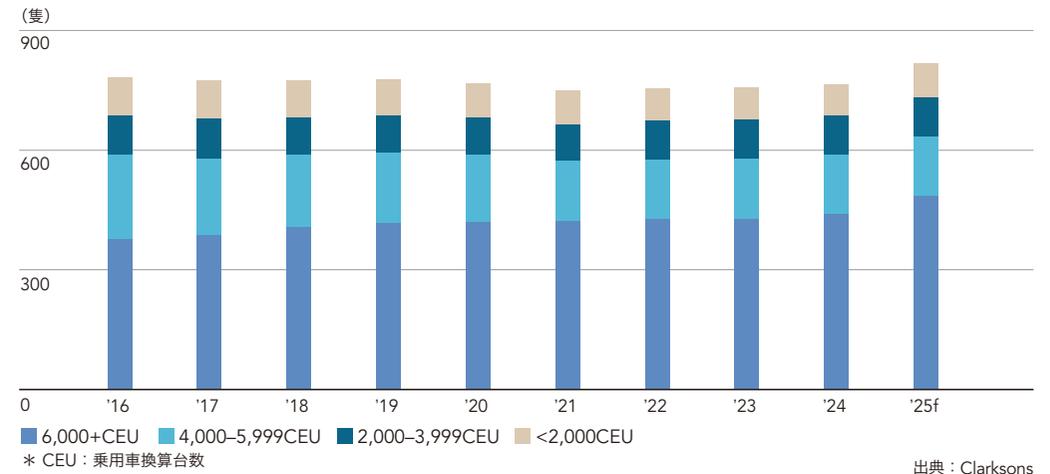
日本メーカー 自動車海外生産台数推移



日本メーカー 建設機械出荷額推移



世界自動車船 サイズ別隻数推移



02. 事業別情報 | 物流事業

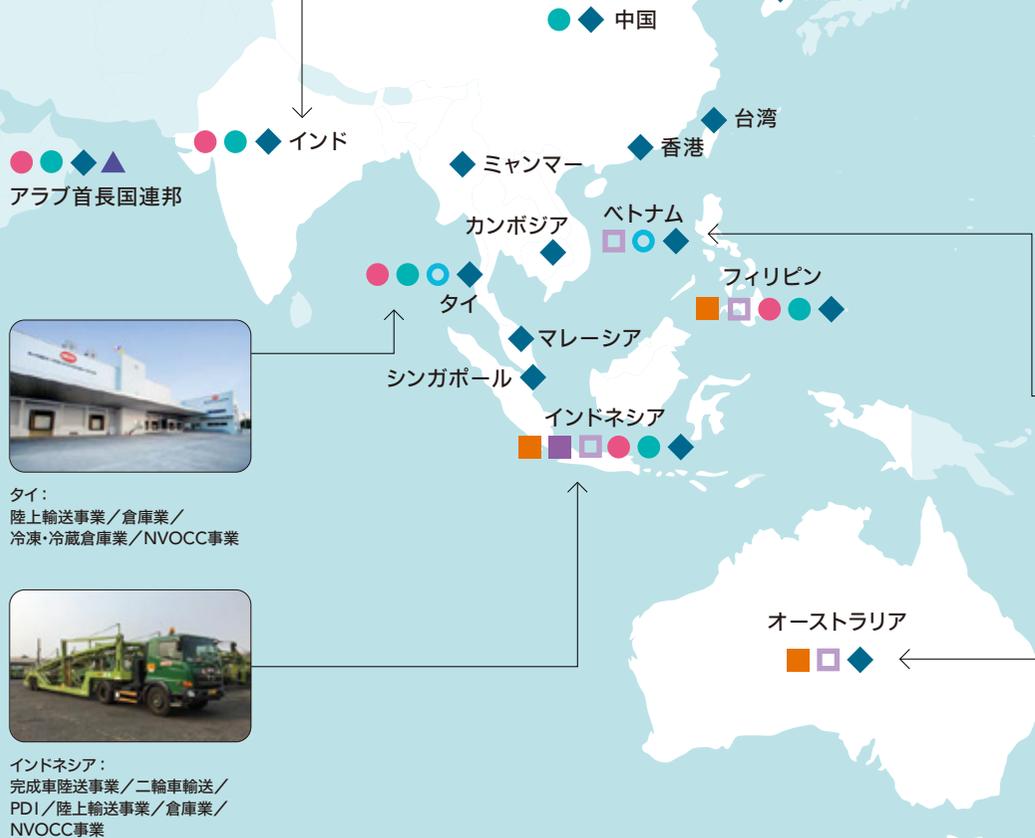
“K” LINEグループ アジア地域での地域密着型総合物流事業



インド：
陸上輸送事業／倉庫業／
NVOCC事業



中国：倉庫業／NVOCC事業



タイ：
陸上輸送事業／倉庫業／
冷凍・冷蔵倉庫業／NVOCC事業



インドネシア：
完成車陸送事業／二輪車輸送／
PDI／陸上輸送事業／倉庫業／
NVOCC事業



ベトナム：
PDI／冷凍・冷蔵倉庫業／
NVOCC事業



オーストラリア：
完成車陸送事業／PDI／
NVOCC事業

- 完成車陸送事業
- 二輪車輸送事業
- PDI (Pre Delivery Inspection)
- 陸上輸送事業 (コンテナ輸送とトラック輸送)
- 倉庫業
- 冷凍・冷蔵倉庫業
- ◆ NVOCC事業
- ▲ 構内物流事業

02. 事業別情報 | コンテナ船事業

コンテナ船 船社ランキング

(2025年5月時点)

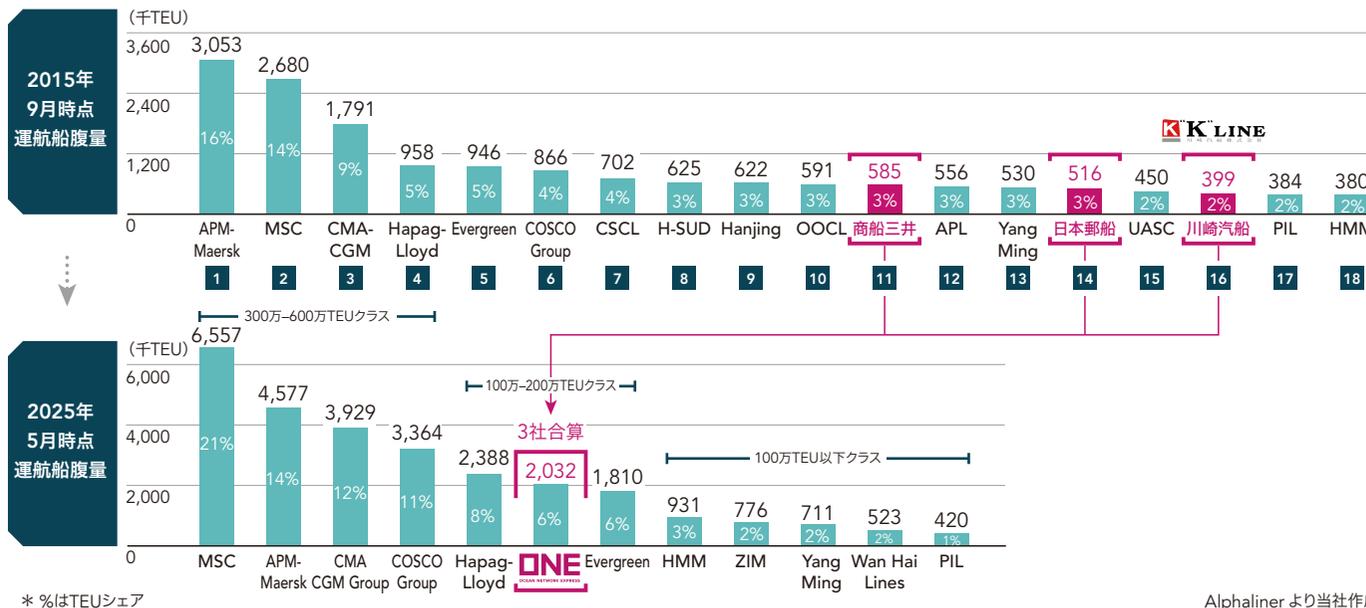
ランキング	会社名	TEU	隻数	シェア
1	MSC	6,556,516	909	20.6%
2	APM-Maersk	4,577,146	737	14.4%
3	CMA CGM Group	3,928,996	674	12.4%
4	COSCO Group	3,364,218	522	10.6%
5	Hapag-Lloyd	2,388,269	304	7.5%
6	ONE	2,032,469	265	6.4%
7	Evergreen	1,810,414	226	5.7%
8	HMM	930,963	85	2.9%
9	ZIM	775,695	128	2.4%
10	Yang Ming	711,393	98	2.2%
11	Wan Hai Lines	522,573	112	1.6%
12	PIL	419,623	97	1.3%
	その他	3,787,201	2,348	11.9%
	合計	31,805,476	6,505	100%

各アライアンスメンバー

- Premier Alliance : ONE, HMM, Yang Ming
- OCEAN Alliance : CMA CGM Group, COSCO Group, Evergreen
- Gemini Cooperation : APM-Maersk, Hapag-Lloyd

Alphalinerより当社作成

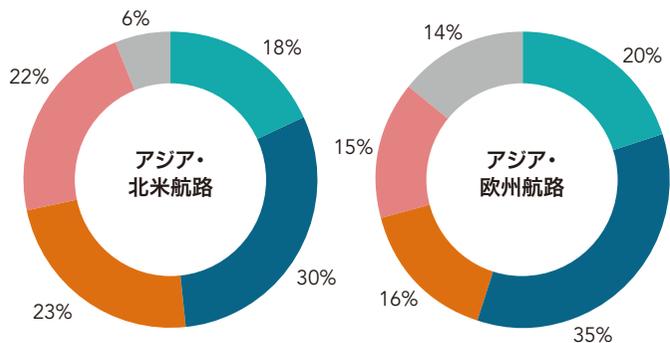
コンテナ船 船社数・規模の変化



Alphalinerより当社作成

主要アライアンス 航路別投入キャパシティ比率

(2025年5月時点)

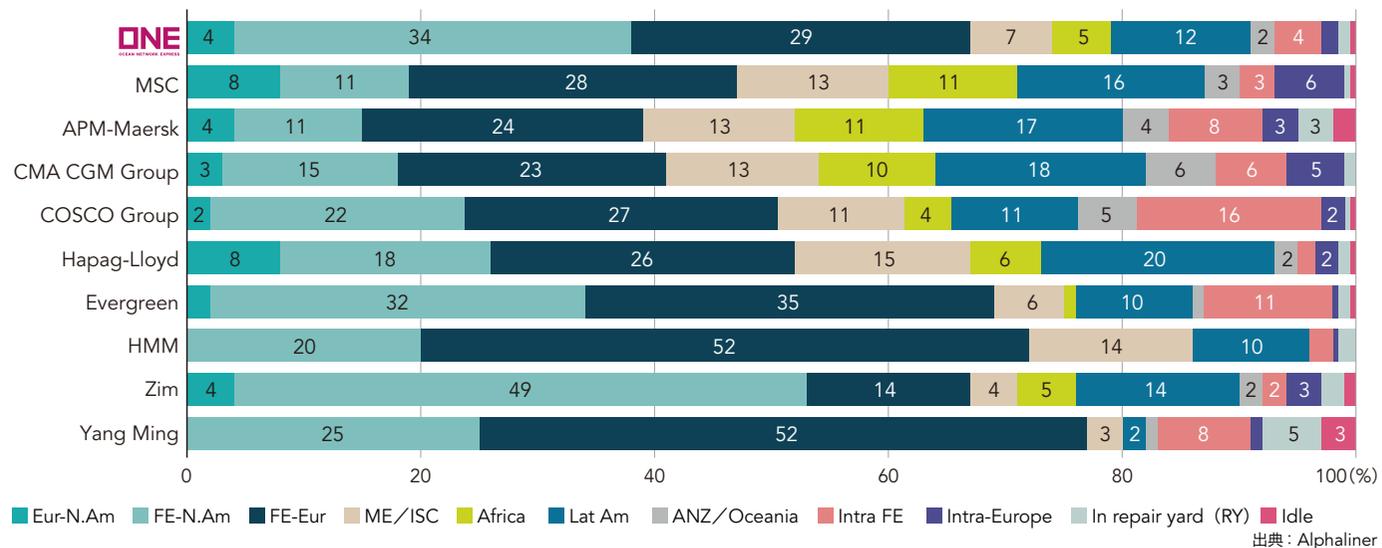


- Premier Alliance
- OCEAN Alliance
- Gemini Cooperation
- MSC
- Other Non-Alliance

出典: Alphaliner

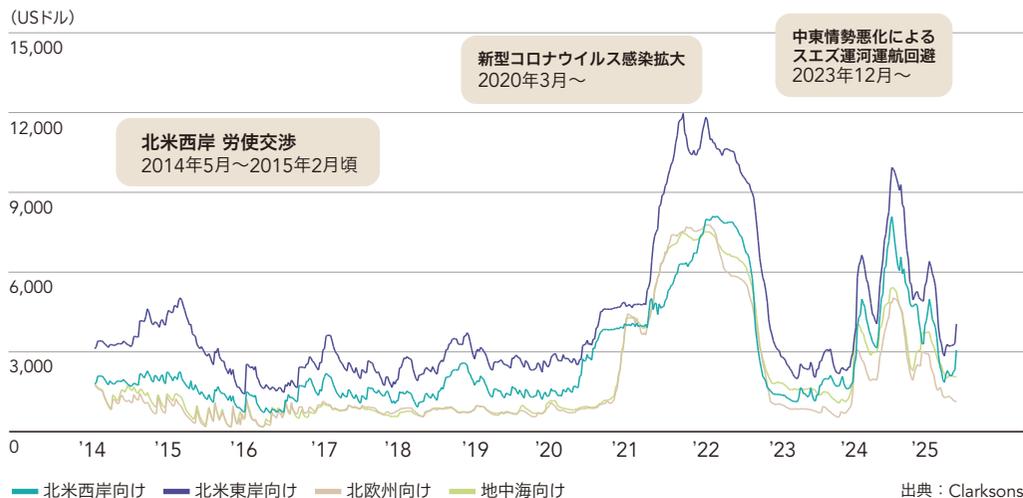
コンテナ船 主要船社 航路別キャパシティ構成

(2025年5月時点)



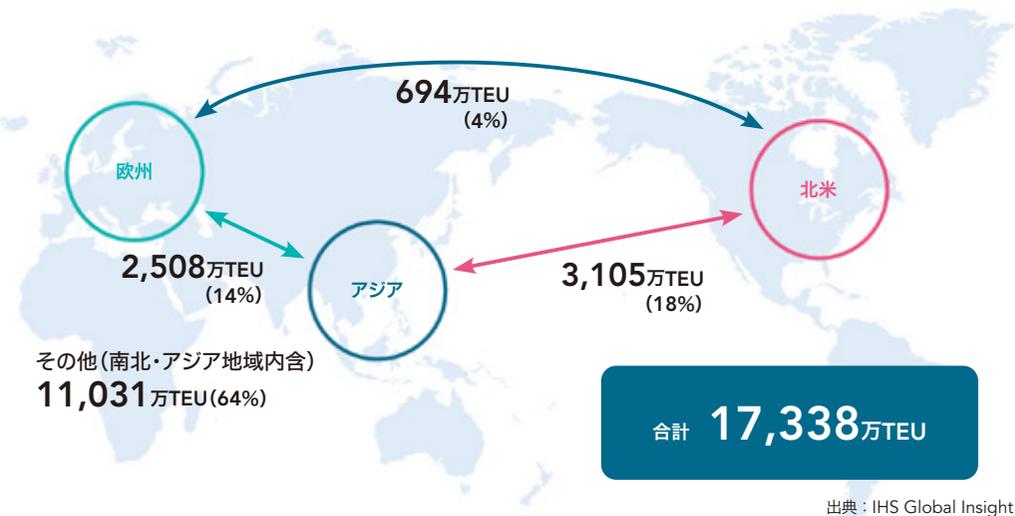
02. 事業別情報 | コンテナ船事業

SCFI(上海積みスポット運賃)推移

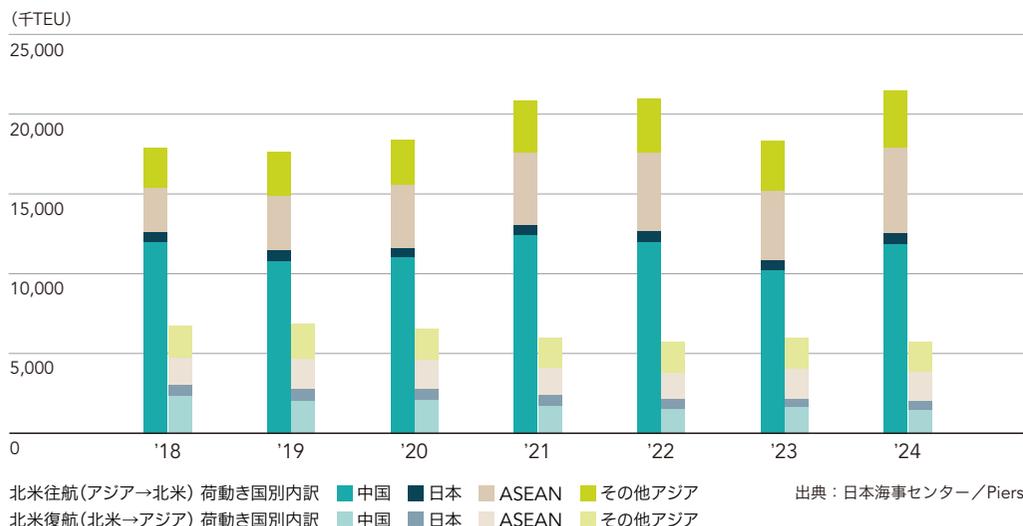


* SCFI：Shanghai Containerized Freight Index
* 地中海・北欧州運賃は\$/TEU、北米西岸・東岸運賃は\$/FEU

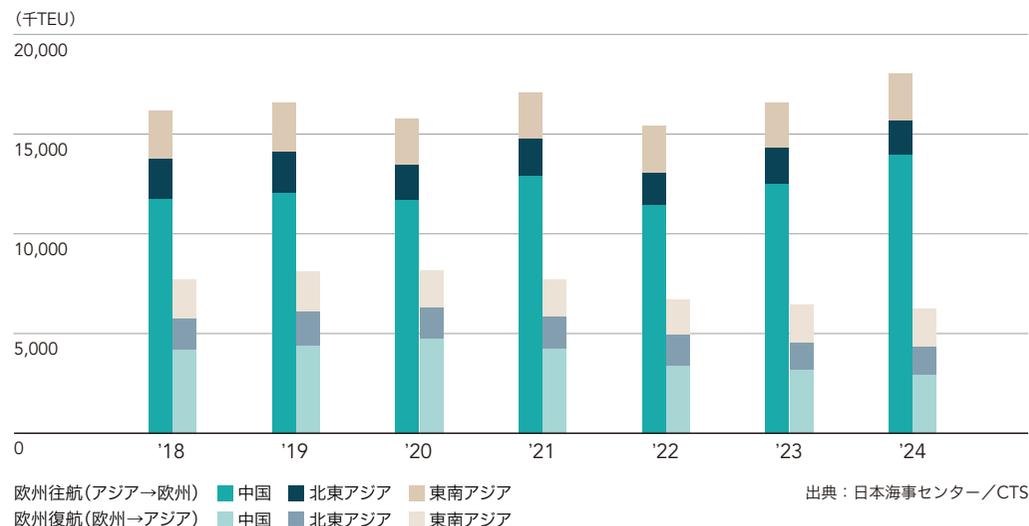
世界のコンテナ荷動き(2024年)



アジアー北米航路荷動き



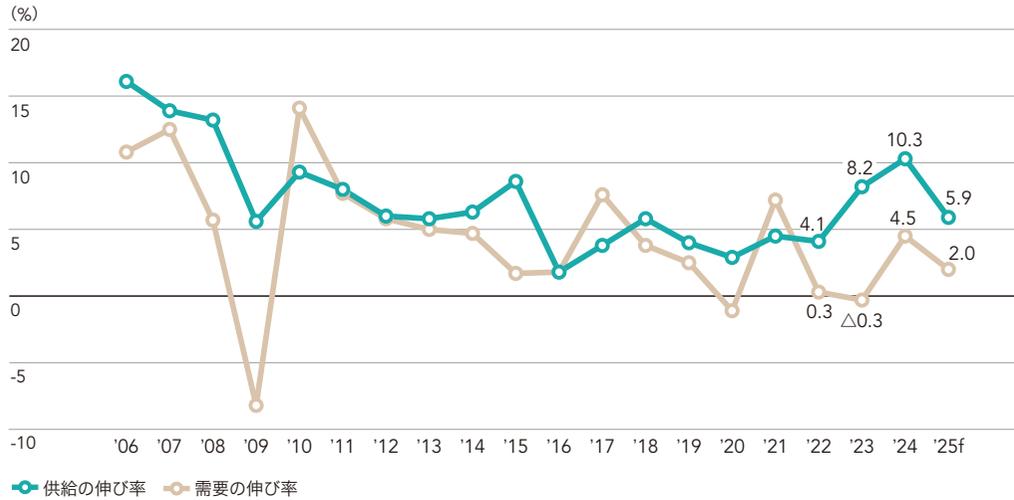
アジアー欧州航路荷動き



02. 事業別情報 | コンテナ船事業

コンテナ船 需要推移

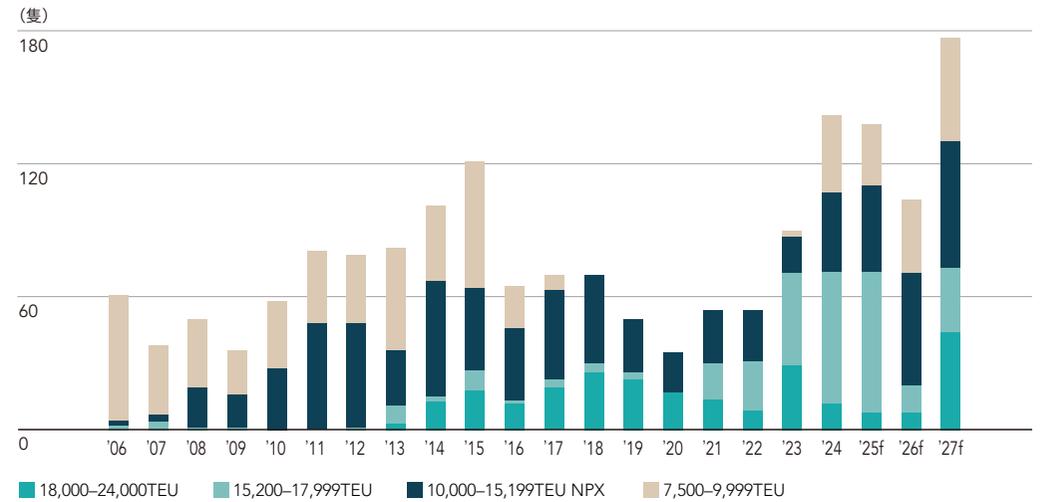
(2025年5月時点)



出典：Alphaliner

大型コンテナ船 竣工隻数推移

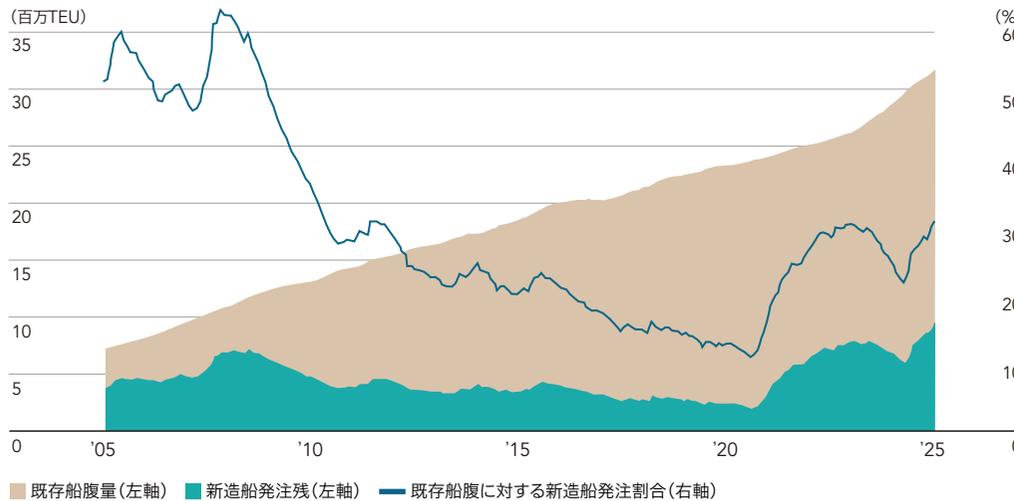
(2025年5月時点)



出典：Alphaliner

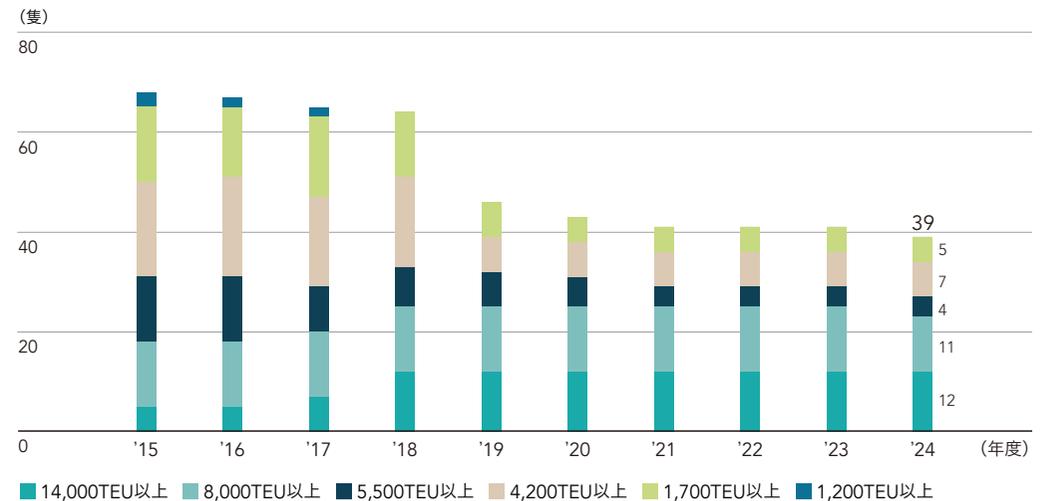
コンテナ船 既存船腹に対する新造船発注割合

(2025年5月時点)



出典：Alphaliner

当社コンテナ船 サイズ別船隊推移



(年度)

02. 事業別情報 | コンテナ船事業

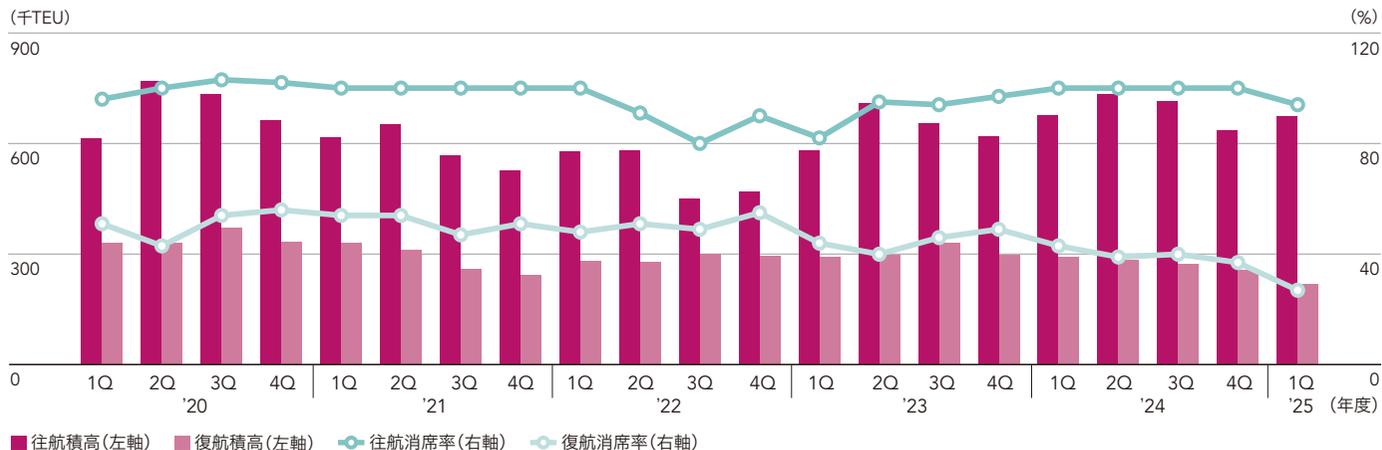
OCEAN NETWORK EXPRESS (ONE) 業績推移



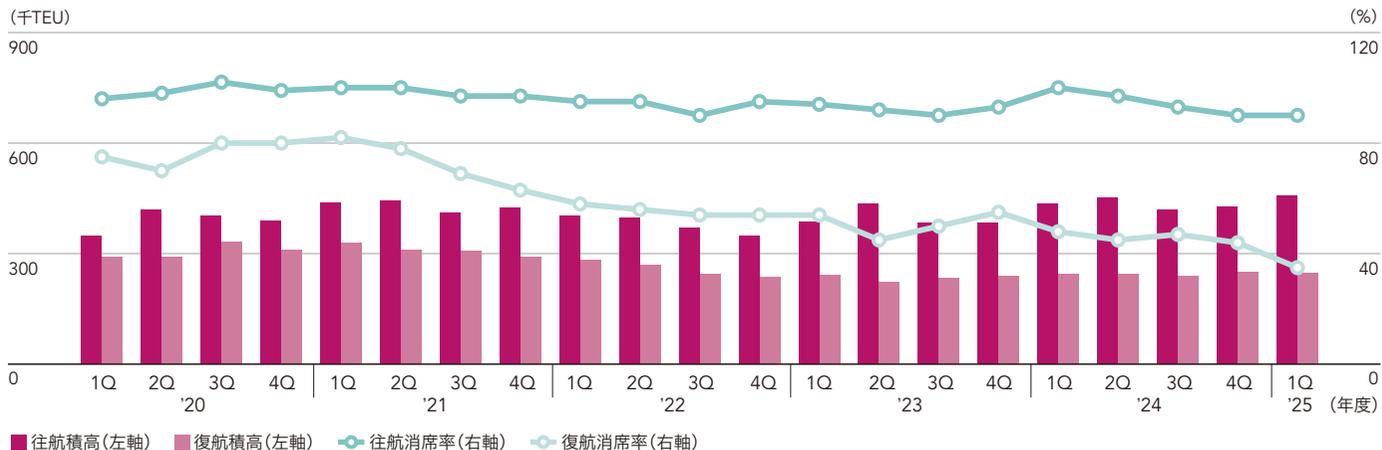
ONE 四半期業績推移

	(百万USD)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
'20年度					
売上高	2,736	3,181	3,757	4,724	14,397
EBITDA	488	854	1,293	2,220	4,855
EBIT	242	603	1,036	1,951	3,832
税引後損益	167	515	944	1,858	3,484
総積高 (千TEU)	2,673	3,061	3,204	3,026	11,964
'21年度					
売上高	5,776	7,557	8,332	8,433	30,098
EBITDA	2,924	4,572	5,286	5,497	18,279
EBIT	2,657	4,295	5,019	5,225	17,196
税引後損益	2,559	4,200	4,889	5,108	16,756
総積高 (千TEU)	3,104	3,181	2,939	2,837	12,061
'22年度					
売上高	9,019	9,367	6,254	4,642	29,282
EBITDA	5,859	5,843	3,060	1,558	16,320
EBIT	5,561	5,528	2,732	1,184	15,005
税引後損益	5,499	5,521	2,768	1,210	14,997
総積高 (千TEU)	2,939	2,898	2,648	2,596	11,081
'23年度					
売上高	3,765	3,549	3,357	3,864	14,536
EBITDA	770	436	170	668	2,044
EBIT	385	31	△ 248	223	392
税引後損益	513	187	△ 83	356	974
総積高 (千TEU)	2,825	3,087	3,105	3,002	12,019
'24年度					
売上高	4,211	5,864	4,846	4,312	19,233
EBITDA	1,217	2,386	1,583	781	5,966
EBIT	667	1,865	1,049	223	3,804
税引後損益	779	1,999	1,156	309	4,244
総積高 (千TEU)	3,142	3,291	3,246	3,071	12,750

ONE 積高・消席率推移(アジア-北米航路)



ONE 積高・消席率推移(アジア-欧州航路)



03. 会社概要 / 株式情報 | 会社概要 / 株式情報

会社概要 (2025年6月30日現在)

社名	川崎汽船株式会社
設立	1919年(大正8年)4月5日
資本金	754億5,764万円
社長	五十嵐 武宣 (2025年3月28日就任)
従業員数	単体: 964名 (陸員745名、海員219名) 連結: 5,783名
事業内容	海上運送業、陸上運送業、航空運送業、海陸空通し運送業、 港湾運送業等

事業所

本社 〒100-8540 東京都千代田区内幸町二丁目1番1号
(飯野ビルディング)
電話 (03) 3595-5000 / FAX (03) 3595-5001

本店 〒650-0024 神戸市中央区海岸通8番
(神港ビルヂング)
電話 (078) 332-8020 / FAX (078) 393-2676

支店

名古屋 〒450-0001 名古屋市中村区那古野一丁目47番1号
(名古屋国際センタービル)
電話 (052) 589-4510 / FAX (052) 589-4585

関西 〒650-0024 神戸市中央区海岸通8番
(神港ビルヂング)
電話 (078) 332-8020 / FAX (078) 393-2676

海外駐在員事務所 台北、マニラ、デュバイ、ドーハ

海外法人 韓国、中国、台湾、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、
ベトナム、インド、豪州、英国、ドイツ、ベルギー、フランス、米国、
メキシコ、ペルー、チリ、ブラジル、南アフリカ

関係会社 国内28社 海外258社
(連結対象)

株式情報 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数	1,800,000,000株
発行済株式総数	639,172,067株
株主数	135,064名
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
上場証券取引所	東京(プライム市場)

当社格付 (2025年2月20日現在)

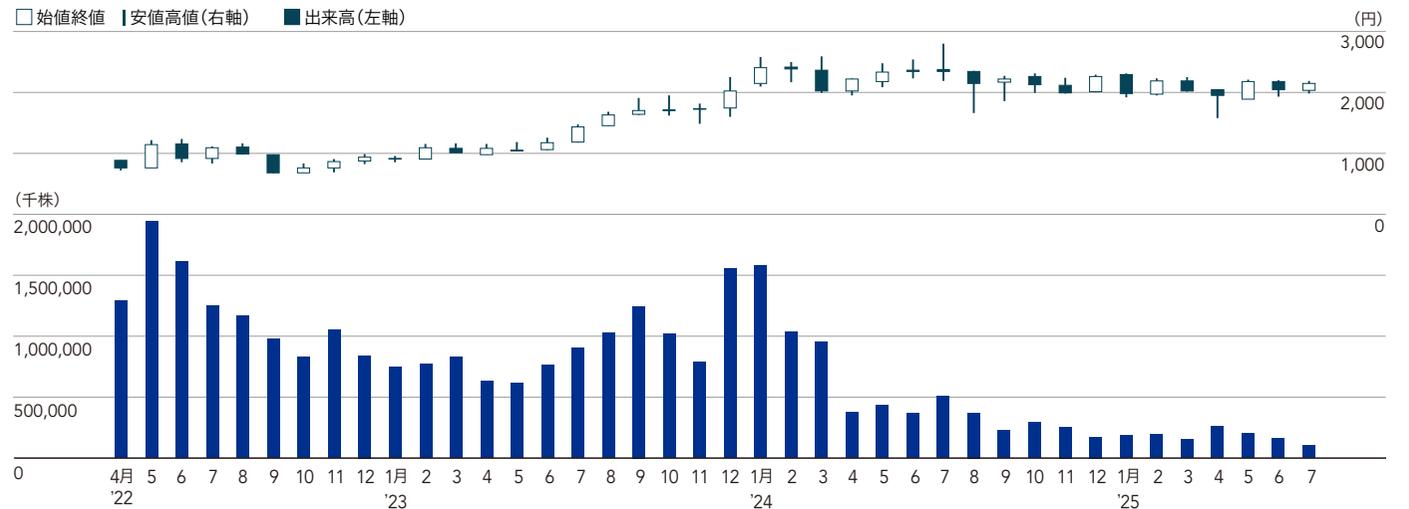
JCR	A- (安定的)
-----	----------

大株主 (2025年3月31日現在)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
イーシーエム エムエフ	77,947	12.21
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	63,752	9.99
エムエルアイ フォー セグリゲートイットズ ビービー クライアント	50,862	7.97
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	42,375	6.64
J.P. MORGAN SECURITIES PLC FOR AND ON BEHALF OF ITS CLIENTS JPMSP RE CLIENT ASSETS-SEGR ACCT	31,796	4.98
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	23,820	3.73
サンテラ(ケイマン) リミテッド アズ トラスティ オブ イーシーエム マスター ファンド	19,716	3.09
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	19,394	3.03
今治造船株式会社	16,956	2.65
株式会社みずほ銀行	12,694	1.98

(注) 所有株式割合は自己株式(1,112,459株)を控除して計算しています。

株価および出来高の推移



(注) 2022年10月1日付及び2024年4月1日付の株式分割(普通株式1株につき3株の割合)を考慮し調整しています。

〒100-8540
東京都千代田区内幸町二丁目1番1号(飯野ビルディング)

川崎汽船株式会社

サステナビリティ・環境経営推進・IR・広報グループ
IR・ESG推進チーム
TEL 03-3595-5000
URL : <https://www.kline.co.jp>

免責事項

本FACTBOOKは投資判断の参考となる情報提供のみを目的とし、当社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。投資に関する決定は、投資家ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

見通しに関する注意事項

本FACTBOOKには将来についての予想や見通しが含まれていますが、これらは当社が現時点で入手可能な情報に基づいており、経済動向、海運業界需給、燃料価格、為替相場等の動向により変動することをご了承ください。

